

Nursing in Tokyo

TNA 公益財団法人 東京都看護協会

会報「看護とうきょう」

121

2016(平成28)年
4月20日号



ホームページはコチラ

<http://www.tna.or.jp>

新島 八重

日露戦争時の篤志看護婦姿。一番左が新島八重

Yae Niijima

生誕：1845年12月1日 陸奥国会津
死没：1932年6月14日(満86歳没)
住居：京都府
別名：新島八重子
職業：教育者、看護婦、茶道家

写真提供：同志社大学同志社社史資料センター

CONTENTS

- 2 会長あいさつ
 - 3 理事会報告／平成28年度日本看護協会代議員及び予備代議員名簿
 - 4 平成28年度東京都看護協会代議員及び予備代議員名簿
 - 5 平成28年度東京都看護協会通常総会プログラム／
東京都看護協会改選役員候補者及び推薦委員候補者名簿／
東京都看護協会職能交流会
 - 6 平成27年度事業実績報告
 - 11 平成28年度重点事業ならびに事業計画
 - 15 東京都ナースプラザだより
 - 16 教育部研修係からのお知らせ
 - 18 看護研究学会報告
 - 19 東京都委託事業(訪問介護フェスティバル／在宅医療コーディネーター養成研修)
 - 20 保・助・看のページ
 - 22 委員会活動
 - 24 チーム医療の現場から／看護フェスタ2016のご案内
 - 25 施設めぐり 東京都赤十字血液センター
 - 26 みんなの広場 癒しの空間「日常の中の癒し」
 - 27 みんなの広場 わたしの好きなとうきょう「水と歴史のまち」日野」
 - 28 会員係からのお知らせ／図書室だより
- ※看護とうきょうはホームページにも掲載しています。

未入会の方に入会をすすめましょう!

平成27年度東京都看護協会会員数
46,953名(平成28年3月31日現在)

	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
会員数	415名	1,953名	43,867名	718名	46,953名
就業数	3,400名	3,651名	97,383名	14,702名	119,136名
入会率	12.2%	53.5%	45.0%	4.9%	39.4%

就業数は平成26年12月31日現在の
「東京都における看護師等業務従事
者届集計報告」による

ごあいさつ

公益社団法人 東京都看護協会
会長 嶋森 好子

会員の皆様には、お元気に新年度を迎えられたことと思います。日頃より、協会活動にご支援をいただきありがとうございます。4月から、新しく、看護職の仲間になられた皆様を心より歓迎申し上げます。

平成28年度の診療報酬改定が行われました。地域包括ケア推進に向けて、病院、診療所、訪問看護ステーションや介護老人保健施設等の連携とケアの充実のための改定で、看護職への期待が大きいことが見て取れます。勤務環境改善や補助者との業務分担等の仕組みが評価されており、これまで、看護職が主張してきたことが制度として報酬に活かされています。これも現場の皆様が地道に改善を進めてきた成果と言えます。

重症度、医療・看護必要度は、項目が追加され、評価の基準も25%と高い水準に設定されました。急性期の医療を評価する項目が増えましたが、二重評価になるのではないかと指摘もあります。次の介護報酬との同時改定の際に、見直される可能性もあります。

都道府県は、超高齢化に向けて、法律に基づき、2次医療圏毎に、高度急性期から慢性期に至るまで、それぞれに必要な病床数を根拠に基づいて決めて整備する「地域医療構想」を策定しています。東京都は数少ない病床不足地域で、高度急性期や急性期等の病床を増やす必要があると言われていています。しかし、東京都の地域医療構想策定部会では、2次医療圏毎に必要な病床数を決めることは困難との意見が出ています。2次医療圏の中には、急性期病床が多い地区や、療養病床が多い地区などの偏りが見られる上、日本のみならず世界中から患者を受け入れている医療機関もあるからです。そこで、策定部会では、5疾病5事業のような疾病毎に必要な病床数を検討する“事業推進区域”という新しい考え方を取り入れて、“病床整備区域”との両面から「地域医療構想」を策定することとなっています。

いずれにしても、看護職の働く場は、変革の真っただ中にあります。変革の波に飲み込まれることなく、看護が果たすべき役割を認識して、改革をリードする職種として活躍いただけることを期待しております。今年度もよろしく願いいたします。



理事会報告

第7回 理事会

平成 28 年 1 月 21 日 (木)

I 協議・承認事項

- 1 平成 28 年度事業方針、事業計画 (案) について
- 2 平成 28 年度予算 (案) 概要について
- 3 諸規程の整備について
 - 1) 「定款」の改正 (案) について
 - 2) 「運営細則」、「理事の報酬及び費用に関する規程」及び「謝金規程」の改正 (案) について
- 4 平成 28 年度東京都看護協会会議等行事日程について
- 5 平成 28 年度東京都看護協会通常総会提出議題について

II 報告事項

- 1 地区理事の辞任について
- 2 日本准看護師連絡協議会の設立に関する日本看護協会の考え方について
- 3 日本看護協会会長表彰推薦候補者について
- 4 東京都看護協会名誉会員及び会長表彰候補者の推薦について
- 5 事業報告 (定款事業 1～6)
 - 1) 定款事業 1 看護職の資質の向上に関する事業
 - (1) 継続教育の実施に関する事業
 - (2) 助産師出向支援導入事業
 - 2) 定款事業 2 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業
 - (1) 医療安全推進事業－医療安全フォーラム
 - (2) 広報活動に関する事業
 - 3) 定款事業 3 看護職の人材確保と定着推進に関する事業
 - (1) 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業

- (a) バンク事業、看護職確保対策事業
 - (b) 届出制度を活用した看護職員復職支援事業
 - (c) 訪問看護人材確保事業－訪問看護フェスティバル
 - (d) 島しょ看護職員確保定着促進事業
- 4) 定款事業 4 在宅ケアの推進と支援に関する事業
 - (1) 訪問看護ステーション事業・訪問看護・居宅介護支援事業
 - (2) 地域包括ケアシステム構築の推進
 - (a) 在宅ケアの充実に向けた看護連携推進－高齢ケア施設の看護管理者交流会
 - (b) 地域包括ケアシステム構築推進に向けた情報提供及び多職種連携
 - 5) 定款事業 5 地域住民の保健福祉に関する事業
 - (1) 地域住民の健康支援に関する事業
 - (a) 次世代育成活動、地域住民健康支援活動、東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業
 - (b) 東京マラソン救護活動支援 (救護スタッフ派遣)
 - (2) 災害時の看護支援活動に関する事業－災害支援ナース育成と支援活動
 - 6) 定款事業 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業
 - (1) 各職能委員会と各委員会の活動報告
 - (2) 地区支部活動報告
 - (3) 協会事務局の体制整備及び効率的な運用
 - (4) 関連機関との連携と政策提言に関する事業－東京都地域医療構想策定について
 - (5) 会館建て替え
 - (6) 法人化30年記念事業－30年史編纂
- 6 その他－看護制度に関連した動きについて

第8回 理事会

平成 28 年 3 月 17 日 (木)

I 協議・承認事項

- 1 公益社団法人東京都看護協会 事務局組織規程一部改正 (案) について
- 2 公益社団法人東京都看護協会 就業規則一部改正 (案) について
- 3 公益社団法人東京都看護協会 理事の報酬及び費用に関する規程一部改正 (案) について
- 4 平成 28 年度事業運営方針および事業計画 (案) について
- 5 平成 28 年度収支予算 (案) について (資金調達及び設備投資の見込み含む)
- 6 資産取得資金の積立について
- 7 新会館建設計画について
- 8 平成 28 年度委員会及び委員の承認について
- 9 平成 28 年度通常総会プログラム (案) について
- 10 法人化 30 年記念事業について

II 報告事項

- 1 日本看護協会会長表彰者の決定について
- 2 マイナンバー取得に関する手続きについて
- 3 事業報告 (定款事業 1～6)
 - 1) 定款事業 1 看護職の資質の向上に関する事業
 - (1) 継続教育の実施に関する事業－学会開催～看護研究学会報告～平成28年1月23日(土)
 - (2) 各職能の専門性向上のための事業－助産師出向支援導入事業

- 2) 定款事業 2 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業
 - (1) 看護管理者・教育責任者交流事業～第2回交流会 平成28年3月12日(土)
 - (2) 広報活動に関する事業
 - 3) 定款事業 3 看護職の人材確保と定着推進に関する事業
 - (1) 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業
 - (a) バンク事業、看護職確保対策事業
 - (b) 届出制度を活用した看護職員復職支援事業
 - (c) 島しょ看護職員確保定着促進事業
 - 4) 定款事業 4 在宅ケアの推進と支援に関する事業
 - (1) 訪問看護ステーション事業
 - (2) 在宅ケアの充実に向けた看護連携推進
 - 5) 定款事業 5 地域住民の保健福祉に関する事業
 - (1) 地域住民の健康支援に関する事業
 - (a) 次世代育成事業、まちの保健室、東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業
 - (b) 東京マラソン救護活動支援
 - (2) 災害時の看護支援活動に関する事業
 - 6) 定款事業 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業
 - (1) 各職能委員会と各委員会の活動報告
 - (2) 地区支部活動報告
 - (3) 関連機関との連携と政策提言に関する事業－日本看護協会理事会報告
- 4 平成 28 年度 会議・行事日程表等 (更新) について
 - 5 平成 28 年度合同委員会について
 - 6 人事について
 - 7 その他

平成 28 年度 公益社団法人日本看護協会 代議員及び予備代議員名簿

■代議員 49 名

(平成 28 年 4 月 7 日現在)

西内 千代子	佐藤 喜美子	本田 みぎ子	山元 友子	瀬下 律子	廣岡 幹子	照沼 則子	池島 美智子	砥石 和子
山崎 あゆ子	藤野 恭子	井上 由美子	安部 崇子	橋本 光江	伊藤 由美子	東 須美江	大和田 恭子	赤塚 敦子
磯 雅子	中川原 さつき	増田 貴恵	西坂 利美	大関 百合子	大久保 嘉子	佐野 さちよ	水戸岡 江里	石橋 恵美子
齋藤 美加子	松浦 直子	川端 信子	鈴木 広子	中橋 一子	碓氷 比呂子	脇田 小百合	綾部 晶子	石田 亜紀
並木 あかね	三津家 照美	塩谷 真理子	澤崎 恵子	川端 美紀子	武知 幸子	田畑 瑠美子	新井 綾子	松尾 美穂
織田 幸恵	須佐 真由美	篠原 晴美	菱沼 啓子					

■予備代議員 44 名

河又 恵子	島崎 博子	大平 綾子	石田 和代	飯畑 裕子	武田 智子	西山 明美	坂本 奈津子	宇佐 美恵子
蓮尾 五美	川上 滋子	眞柄 雄樹	滑沢 晴美	佐藤 幸子	中西 美加	菊田 隆子	中三川 厚子	伊藤 洋子
金澤 敦子	村木 久子	金子 美樹	渋谷 妙	池部 朱三衣	酒巻 文子	黒須 一見	近藤 仁美	高橋 並子
高橋 由利子	正藤 倫音	朝穂 美記子	佐藤 朋子	山本 英子	北川 順子	笹木 織絵	尾崎 光代	大瀬 美幸
押部 真由実	古河 小百合	初田 里美	加藤 妙子	秋保 るみ子	嵯峨 幸恵	斎藤 直美	村田 泉	

平成 28 年度 公益社団法人東京都看護協会 代議員名簿

(平成 28 年 4 月 7 日現在)

東部地区 24 名

田中 美香	山田 咲子	遠藤 由香	渡邊 貴子	中川原 さつき	篠井 真紀子
木村 加代子	八山 昌代子	大澤 智美	大平 綾子	磯 雅子	古嶋 明美
奥山 かおり	宮崎 智子	長野 恵美子	島崎 博子	大友 富紀子	佐藤 知子
小西 紀江	松村 幸美	鶴ヶ崎 かのる	佐野 恵美子	飯 畑 裕子	大石 英美

西部地区 61 名

本橋 タマ子	有村 幸恵	長谷川 恵子	中村 裕子	山中 伸美	菊岡 史子
蓮尾 五美	小林 弘美	立山 幸子	木村 智子	児島 みどり	蛭田 みゆき
藤本 志保	小逆 純子	松本 啓子	宇野 珠里	木村 陽子	西山 明美
武田 久美	瀨川 幸子	加藤 晶子	高橋 恭子	大竹 嘉代子	大久保 嘉子
加藤 久美	吉田 幸子	坂本 奈津子	佐藤 未智子	井出 陽子	小坂 邦江
岩本 律子	林 淳子	坂本 奈津子	鈴木 舞子	笹原 合加	桐澤 千里
中野 直美	秋山 恵美子	浜口 結花里	磯江 典子	星野 恵子	大島 久美
末吉 由美	細井 恵子	片岡 美樹	川合 美穂子	原田 結花子	白石 ゆかり
嶋田 美刈子	鈴木 秀子	佐藤 奈津子	浅野 都子	今井 恵子	布施 美枝子
柳澤 洋子	羽賀 弥幸	矢澤 紀子	荒井 美由紀	佐藤 真由	駒井 則子
服部 久恵	渡部 幸恵	中三川 厚子			

南部地区 40 名

鈴木 恵子	高村 忠輔	加藤 ひろみ	今道 めぐみ	小泉 清美	小野 裕子
平本 康子	川縁 真由美	今井 文子	佐藤 美加子	村木 久子	佐條 美保子
畑中 晃子	節原 光江	荒木 弥生	伊賀 由美子	吉田 澄子	中野 あゆみ
加藤 千鶴子	牧田 弘美	増島 絵里子	渡辺 舞子	碓氷 比呂子	安藤 弓子
田村 恵理子	長橋 明子	鯉淵 由美子	熊木 晴美	志村 千秋子	谷村 京子
佐藤 文江子	坂下 恵美子	足立 尚子	定成 知恵子	内田 奈津子	吉田 文
土屋 麻美子	伊藤 好美	徳田 幸子	高橋 由美子		

中部地区 43 名

熊井 久美子	脇田 小百合	正藤 倫音	高橋 みどり	大驛 みづえ	矢内 富江子
上野 早苗	田美 千奈美	三橋 恭子	高柳 木子	佐藤 朋子	高橋 並乃
沼澤 真希	太倉 真奈美	中林 恭江	笹尾 織紀	本村 良子	高遠 藤綾
小武方 希穂子	矢嶋 康子	東 めぐみ	石田 亜紀	榎田 康代子	石井 和美子
伊藤 知亜紀	小西 瑠美子	相田 可奈子	土田 夏子	郡由 起子	五十川 敦子
千々輪 香織	小綾 晶子	中村 有里	高橋 祐子	津家 照美	尾上 香代子
入山 亜希	東山 峰子	岩田 真由美	北川 順子	三安 節美	高橋 富貴子
西堀 光重					

多摩北地区 22 名

福田 真紀子	川端 美紀子	佐藤 祐子	尾崎 光代子	大瀬 美幸子	大河原 敦子
小山 由紀子	浅沼 真理	深澤 保子	黒野 義孝子	西宮 陽子	比留間 あゆみ
杉山 由紀江	川上 房江	大槻 典子	石川 孝子	小関 牧子	武田 裕美
栗田 千春	香春 知永	美濃 禎久	糟谷 貴子		

多摩南地区 34 名

八代 愛子	森田 知子	武知 幸子	新井 綾子	川島 久美子	山科 亮
黒川 和美	松尾 美穂	小林 幸子	織田 幸恵	坪根 恵里子	東かおる
大塚 光代	中本 美佳	塚田 亜希	福地 洋子	渡辺 恵美子	山田 順子
落合 三枝子	平井 美津代	比嘉 歩	金澤 めぐみ	古田 博子	河野 香子
戸部 美幸	今井 桂子	吉田 優子	都所 美奈子	藤沢 秀子	小林 洋子
伊藤 八代子	岡元 晴恵	初田 里美	嵯峨 幸恵		

平成 28 年度 公益社団法人東京都看護協会 予備代議員名簿

東部地区

加瀬 洋子
伊地 知淑子
神田 恵子
五十嵐 里香
佐々木 孝子

西部地区

小池 裕子
高木 京子
佐藤 みちよ
鈴木 厚子
八島 朋子
須佐 真由美
佐藤 みゆき

南部地区

武知 幸子
小林 幸子
塚田 亜希
比嘉 歩
吉田 優子
初田 里美

中部地区

水野 留美子
菊池 洋子
福永 智美
永井 玲子
平田 紗樹

多摩北地区

岡田 浩一
桑田 美代子

多摩南地区

加藤 妙子
秋保 るみ子
斎藤 直美

平成 28 年度 通常総会プログラム

日時 平成 28 年 6 月 22 日 (水) 10:00 ~ 16:45

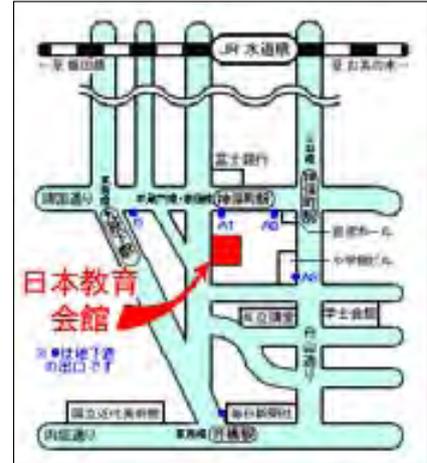
場所 日本教育会館一ツ橋ホール (千代田区一ツ橋 2-6-2)

- 9:30 **開場**
9:45 **オリエンテーション**
10:00 **開会**
物故会員への黙祷
会長挨拶
祝電披露
東京都看護協会会長表彰
日本看護協会会長表彰者紹介
- 10:20 **議長団選出・議事録署名人の決定**
報告事項
報告事項 1 平成 27 年度 理事会報告
報告事項 2 平成 27 年度 事業報告
報告事項 3 平成 27 年度 職能委員会報告
報告事項 4 平成 27 年度 決算報告ならびに監査報告
議決事項
第一号議案 東京都看護協会名誉会員の推薦(案)について
第二号議案 平成 28 年度東京都看護協会 改選役員・推薦委員選挙
- 12:30 **昼食 休憩**
13:30 **東京都看護協会名誉会員表彰**
13:40 **議決事項**
第三号議案 東京都看護協会定款の一部改正(案)について
第四号議案 新会館建設計画について
第五号議案 平成 28 年度東京都看護協会選挙管理委員選出について
第六号議案 平成 29 年度日本看護協会代議員および予備代議員選出について
- 14:10 **報告事項**
報告事項 5 平成 28 年度 事業運営方針及び事業計画
報告事項 6 平成 28 年度 収支予算及び収支計画
報告事項 7 平成 29 年度 東京都看護協会代議員及び予備代議員
- 15:10 **議事終了**
選挙結果発表
15:15 **閉会**

特別講演 15:45 ~ 16:45

テーマ：東京都看護協会法人化
30 周年記念特別講演

講師：嶋森 好子氏
(東京都看護協会 第七代会長)



住所：東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
電話：03 (3262) 7661

交通のご案内

- 地下鉄東西線
九段下駅 (出口 6)・竹橋駅 (北の丸方面出口) 下車 徒歩 5 分
- 地下鉄三田線
神保町駅 (出口 A6・A8) 下車 徒歩 5 分
- 地下鉄新宿線
神保町駅 (出口 A1) 下車 徒歩 2 分
- 地下鉄半蔵門線
神保町駅 (出口 A1) 下車 徒歩 2 分
- JR 水道橋駅西口 下車 徒歩 15 分

東京都看護協会 改選役員候補者及び推薦委員候補者名簿

平成 28 年度 改選役員候補者

[会 長]	定数 1	改選 1	山元 恵子	富山福祉短期大学
[副 会 長]	定数 3	改選 1	松本 弘子	東京大学医学部附属病院
[常 務 理 事]	定数 2	改選 1	大橋 純江	東京都看護協会
[財政担当理事]	定数 1	改選 1	照沼 則子	順天堂大学医学部附属順天堂医院
[保健師職能理事]	定数 1	改選 1	池島美智子	荒川区福祉部高齢者福祉課
[准看護師理事]	定数 1	改選 1	岡本 由美	東京都済生会向島病院
[東部地区理事]	定数 1	改選 1	藤野 恭子	葛西昌医会病院
[西部地区理事]	定数 1	改選 1	市橋 富子	花と森の東京病院
[中部地区理事]	定数 1	改選 1	柳橋 礼子	聖路加国際病院
[多摩北地区理事]	定数 1	改選 1	木村 真喜	多摩済生病院
[多摩南地区理事]	定数 1	改選 1	伊藤由美子	東海大学医学部付属八王子病院

平成 28 年度 推薦委員候補者

[保健師]	今泉 厚子	荒川保健所 健康予防課
[保健師]	音喜多久枝	足立区保健所 千住保健総合センター
[助産師]	淵上 幸子	東京都立墨東病院
[助産師]	山崎めぐみ	東京北医療センター
[看護師]	川上 美喜	公立阿伎留医療センター
[看護師]	森 希代美	立川相互病院
[看護師]	吉田 幸子	東京都保健医療公社 豊島病院
[看護師]	雀見 康子	イムス葛飾ハートセンター病院
[看護師]	五十川敦子	がん感染症センター 都立駒込病院

東京都看護協会職能交流集会

日時 平成 28 年 7 月 16 日 (土) 13:30 ~ 17:00

場所 公益社団法人東京都看護協会会館 三職能合同シンポジウム予定

平成27年度 事業実績報告

平成27年度は、定款に掲げる6つの事業の実施にあたり、下記の3点に重点をおいた取り組みを行った。

1. 地域包括ケアシステム構築の推進
2. 看護職の資質の向上、人材育成
3. 看護職の確保定着

I 看護職の資質の向上に関する事業〔定款第4条(1)〕

1. 継続教育の実施に関する事業

関連委員会の協力のもと全研修の実施・評価を終了
1)2)3)総受講者数 9,019名

1)実務実践能力の向上に関する研修(受講者数7,827名)

看護実践研修Ⅰ、看護実践研修Ⅱ、教育・指導研修、マネジメント研修
受講者数5,436名
訪問看護師育成基本コース(ナースプラザ研修) 受講者数31名
地区支部研修 受講者数2,360名

2)実務実践マネジメント能力の向上に関する研修(受講者数372名)

認定看護管理者養成研修
ファーストレベル 第1回修了者 71名
第2回修了者 72名
セカンドレベル 修了者 31名
サードレベル 修了者 31名
医療安全管理者養成研修 7日間 修了者 89名
医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 受講者数78名

3)看護教育実践能力の向上に関する研修(受講者数820名)

新人看護職員卒後臨床研修事業・教育責任者の教育等
(応募者503名 受講者447名)
新人看護職員研修(ナースプラザ研修)
- 2日間または3日間の2コース実施
2日間受講者数27名 3日間受講者数80名
実習指導者研修(ナースプラザ研修)年3回 受講者数229名
保健師・助産師・看護師実習指導者研修
- 特定分野7日間(ナースプラザ研修受講者数37名)

2. 各職能の専門性向上のための事業

1)各職能の実践能力向上や機能強化のための研修や指針等の周知・普及

- (1)保健師
- ・産業保健師研修 平成27年10月15日(木) 参加者25名
 - ・地域包括ケアにおける保健師の役割に関する研修
 - ・平成26年度研修のフォローアップ研修
平成27年6月27日(土) 参加者46名

(2)助産師

- ①研修・学習会
- ・新人助産師研修 平成27年9月12日(土) 参加者21名
 - ・助産実践能力強化支援事業
平成27年11月7日(土) 参加者46名
 - ・子育て支援運営委員会企画学習会
平成28年2月6日(土) 参加者78名
- ②助産師出向支援導入事業

2)認定看護管理者・専門看護師・認定看護師の活動支援

- (1)認定看護職の活動支援
(2)認定看護研修会の開催

3. 学会開催

1)看護学生看護研究学会

テーマ:はばたけ未来へ あなたの看護
日時:平成27年12月4日(金) 12:00~16:00
場所:文京シビックホール
内容:口述発表・示説発表・特別講演・シンポジウム・学生交流広場
*シンポジウム
テーマ:看護の魅力を語ろう!
*学生交流ひろば 4出展
参加者1,627名 14演題・口述8題 示説6題

2)看護研究学会

テーマ:マイタウンTOKYO Justな都市型看護をめざします!
日時:平成28年1月23日(土) 10:00~16:00
場所:日本教育会館
内容:口述発表・示説発表・特別講演・シンポジウム・看護用具創意工夫
*基調講演Ⅰ
テーマ:「バトンをつなぐチームワークとコミュニケーション」
講師:朝原 宣治氏
(大阪ガス株式会社 北京五輪4×100mリレー銅メダリスト)
*ランチョンセミナー(共催)
東洋羽毛:「よりよく眠るために必要な睡眠環境の条件と寝相・寝返りの関係」
ユニ・チャームメンリッツ株式会社:「急性期病院における
コンチネンスケアの重要性」
*シンポジウム
テーマ:「ケアのバトンの渡し方・渡され方」
*看護用具創意工夫(パネル・作品展示)
褥瘡治療の為にアームカバー作成を試みてー施策とその効果ー
参加者337名
演題・口述14題 示説31題 看護用具創意工夫作品1題

4. 看護研究助成

看護研究のレベルアップを図るための支援(※共益事業) 3件交付

5. 図書室の運営

平成27年度新規購入 図書313冊
利用者数(延べ) 3,350名

6. その他看護職の資質向上に関する事業

1)国際学会

- (1)2015年国際看護師協会(ICN)学術集会(6/19~23)
於)ソウル
(2)2015年第11回アジア太平洋地域会議・助産学術集会(7/20~22)
於)パシフィコ横浜

2) 総会・学会における講演会

総会 特別講演

テーマ: 超高齢社会におけるコミュニケーションロボットの活用とこれからの可能性

講師: 井上 薫 氏(首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法科学域 准教授)

二宮 恒樹 氏(富士ソフト株式会社)

II 看護業務の開発・改善及び情報提供に関する事業〔定款第4条(2)〕

1. 看護業務の開発・改善に関する事業

- 1) 看護業務の開発・改善に資する各種調査の実施
- 2) 資料の収集、データの蓄積
- 3) 業務改善・開発及び政策提言のための資料の作成

2. 医療の質と安全の推進事業

1) 医療安全推進のための都民公開講座

「医療安全フォーラム」の開催

開催日: 平成27年11月28日(土)

場 所: 東京都看護協会

参加者54名

テーマ: こまでできる在宅での薬のはなし

2) リスクマネジャー交流会開催

開催日: 平成27年10月24日(土) 参加者70名

3) 医療安全関連情報の提供

3. 看護管理者教育責任者交流事業

1) 講演会・交流会の開催

第1回目

開催日: 平成27年8月30日(日)

場 所: 東京都看護協会

参加者85名

テーマ: 「看護実践(経験)を振り返ることの意味

ーリフレクションで新たな看護を創造しようー

講師: 東 めぐみ 氏(東京都済生会中央病院 副看護部長兼教育センター長 認定看護管理者 慢性疾患看護専門看護師)

第2回目

開催日: 平成28年3月12日(土)

場 所: 東京都看護協会

参加者358名

テーマ: 「平成28年度診療報酬改定の概要と看護管理者対応のポイント」

講師: 奥田 清子 氏(厚生労働省保健局医療課 課長補佐)

4. 各職能の専門性向上のための事業

1) 職能交流集会の開催

開催日: 平成27年7月25日(土)

会 場: 東京都看護協会会館

参加者75名

(1) 各職能別交流集会

(2) 三職能合同 シンポジウム

テーマ: 地域包括ケアにおける期待される看護職のセカンドキャリア

演 者: 藤田 友子 氏(三ツ藤内科クリニック)

藤野 静枝 氏(支援者のために研究室「悠」)

杉本 弥生 氏(暮らしの保健室)

桜井 範子 氏(東京都看護協会東京都ナースプラザ)

2) 准看護師交流および情報提供事業

(1) 交流会の開催

(2) 進学支援

① 「看護師学校養成所2年課程」への進学支援

進学情報の提供(説明会開催)

開催日: 平成27年7月14日(火)

場 所: 東京都看護協会会館

参加者57名

② 研修会& 交流会

開催日: 平成28年2月18日(木)

場 所: 東京都看護協会会館

参加者34名

テーマ: 知って得するシリーズ 看護に活かすスキンケア

講師: 北村 美和子 氏(三井記念病院 皮膚・排泄認定看護師)

3) 新しい看護の役割拡大に関する情報収集と発信

5. 広報活動に関する事業

1) あらゆる機会を使ったタイムリーな情報発信

(1) 広報誌の発行(※ 共益事業)

① 会員向け 会報「看護とうきょう」NURSING in TOKYO

最新の医療看護情報や協会活動についての情報発信と会員相互が交流を図れる会報誌づくり

・発行日: ①4/20 ②7/20 ③10/20 ④1/20 A4判20頁

・発行部数: ①②③④約46,000部(各会員に1部)

(2) 卒業前看護学生へ専門職能団体の役割等を紹介するためのパン

フレットの配布、協会活動の紹介(6,070部)

(3) ホームページの充実

会員、協会双方向で使いやすいホームページの活用の検討・推進
訪問数: 71,646名 総アクセス数: 447,082件

(4) ガイダンス: Tokyo Nursing Association

III 看護職の人材確保と定着に関する事業 〔定款第4条(3)〕

東京都からの委託事業、東京都看護協会を受託し、東京都ナースプラザ事業として実施

1. 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業

1) 無料職業紹介(ナースバンク飯田橋・立川)

年間就業者数 891名

東京(週6日: 月曜日～土曜日)

立川(週5日: 月曜日～金曜日)

(1) 利用者ニーズに応じた再就業支援

① 「eナースセンター」の活用による再就業支援

② プランニングシートを活用した相談内容の充実

③ 就業機会促進の場の提供(求人施設とのマッチング)

・ミニ就業相談コーナーの実施

東京 週5日間(月曜日～金曜日)

立川 週2日間(火曜日・木曜日)

2月末現在 参加施設 262施設 参加者163名

・ふれあいナースバンク(再就職相談会)の開催

東京・立川にて年7回開催

参加施設180法人、参加求職者数391名

④ 看護技術の再学習・再確認

ビデオ・体験コーナーの活用についての周知と充実

(ナースバンク立川)

参加者124名(就業者27名 未就業97名)

⑤ 再就業者数の正確な把握

⑥人材確保・定着のためのセミナー、研修等の開催 年2回

⑦東京労働局・ハローワーク・区市町村等との連携強化
相談事業の継続・拡大。求人・求職情報の共有・活用

2) 届出制度を活用した看護職員復職支援事業

退職時のナースセンター登録努力義務化の推進
地域密着型の就職相談会の開催 5回実施

3) 看護職員地域確保支援事業;潜在看護職を対象に復職を支援する。

*地域就業支援病院の募集
31病院で実施 受講者数250名

4) 東京都看護職員定着促進のための巡回訪問事業

200床未満の病院を対象に、就業協力員が巡回訪問し、勤務環境や
新人看護職員研修体制・院内教育体制構築やサテライト研修等の取
組みへの支援を行う。
施設 - 31 合計訪問回数291件

5) 訪問看護人材確保事業

①訪問看護フェスティバルの開催
日時:平成28年1月16日(土) 10:00~15:30 参加者326名
場所:東京都庁第一本庁舎5階大会議場
②訪問看護に関する情報提供のためのリーフレット、グッズ等の作成・配布

6) 島しょ看護職員確保定着促進事業

(1)出張研修 大島・三宅島・八丈島・小笠の4島で5回開催
(2)短期代替看護職員派遣 派遣希望なし

7) ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業(東京都看護協会事業)

看護職の働く環境の改善・整備のための支援を行うことで看護職の
定着・離職防止を目指す取り組み
(1)WLB推進事業の実施
WLB インデックス調査 平成27年6月実施
参加施設11施設 参加者数2168名 回収数1950 回収率98.9%
アクションプラン立案・実践の支援
(2)労働環境改善のための支援
WLB 研修会の開催
開催日:平成27年9月16日(水)
テーマ:看護職の働きやすい職場づくりを目指して
一夜勤・交代制勤務の負担を軽減する
参加者118名
(3)出産・育児による離職防止
初めてママになった看護職のための「仕事と子育て」セミナーの開催
開催日:平成27年7月18日(土)
参加者7名

2. 研修事業

1) 就業意欲を高める研修 3月末現在 受講者数 85名

2) 定着促進・資質向上に向けた研修 3月末現在 受講者数 3,935名

3) 訪問看護師・実習指導者のための研修(再掲)

保健師助産師看護師実習指導者研修(特定分野7日間)

4) 再就業支援研修

受講者はふれあいナースバンクへの参加を促す等、研修とナースバン
クの連携強化
※セカンドキャリア研修の開催 年1回
科目「こころと身体のアнтиエイジング〜イキイキと働き続けるた
めに〜」
受講者45名

3. 普及啓発事業

1) ナースプラザの情報発信の推進

(1)主に求人・求職のための情報発信
・ホームページの運営、メールマガジンの配信
(2)事業案内ポスター・パンフレット等作成・配布
(3)新聞広告・インターネット広告等の活用

2) 「看護の魅力」普及啓発の推進

(1)情報誌「やっぱり看護が好き」の発行(2回/年)
(2)高校生・中学生・社会人の一日看護体験学習の実施(7~8月開催)
高校生・中学生・社会人の参加
実施施設:166施設 体験者:1,193名
(3)高校3年生対象とした一日看護体験学習の実施(5月)
実施施設:87施設 体験者:244名
(4)看護学校進路相談
(5)看護学校の卒業生対象にナースプラザ事業説明 3月 1校

3) ふれあい看護体験の支援

対象:教育等の一環として企画された団体
実施施設:14施設 体験者:60名

4) 「看護フェスタ」の開催(「看護週間」における行事)

開催場所:新宿駅西口広場イベントコーナー
開催日:平成27年5月16日(土)
・内容:多職種チームによる健康チェック、健康相談、介護相談、栄養相
談、葉相談、口腔ケア相談、就業相談、進路相談、ミニ講座、看護
関連情報、訪問看護の紹介等
*参加者へ記念グッズ配布
参加団体 12団体 参加者1,115名 延べ4,719名

IV 在宅ケアの推進と支援に関する事業 【定款第4条(4)】

1. 訪問看護居宅介護支援事業等

1) 千駄木訪問看護ステーション

(1)訪問看護
年間訪問回数 4,568回
医療保険適用 1,424回
介護保険適用 3,144回
年間利用者数 872人
(2)居宅介護支援
訪問調査 11件
ケアプラン作成 183件
(3)関連機関との情報交換と連携
文京区訪問看護ステーション連絡会(隔月)
文京区地域ケア会議(3回/年)
文京区医師会学術集会(1回/年)
文京区看護職交流会(4回/年)
居宅支援事業ネットワークの会(4~5回/年)
精神疾患支援者実務者連絡会(4回/年)
(4)看護学生及び看護職研修生の受け入れ
看護学生(3年課程・4年課程):5校 延べ118名
医学部生 訪問看護見学 1校 延べ2名
訪問看護研修ステップ I:1名
一日看護体験:2名
退院調整看護師養成研修:1名
職場見学(ホームページ・ナースバンク等経由):8名

2)城北訪問看護ステーション

(1)訪問看護

年間訪問回数 3,458回
医療保険適用 1,815回
介護保険適用 1,643回
年間利用者数 589人

(2)関連機関との情報交換と連携

練馬区主催事例検討会での事例発表
練馬区主催「病院への訪問看護出前講座」に講師として参加
練馬区・練馬区ステーション連絡会・光が丘ブロック等の会議への定例参加
練馬区・練馬区ステーション連絡会・光が丘ブロック等の研修会に職員が積極的に参加

(3)看護学生及び看護職研修生の受け入れ

看護学生(3年課程・4年課程):3校 延べ138名
訪問看護研修ステップⅠ:1名

2.地域包括ケアシステム構築の推進

1)在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進

(1)訪問看護師の育成と在宅ケアの充実に向けた支援

①訪問看護師の養成研修、リーダー研修、実習指導者研修、訪問看護eラーニングを活用した教育支援
eラーニング開催期間:平成27年7月1日～11月30日
訪問看護研修ステップ1 開催期間:
平成27年12月16日～平成28年2月17日(内5日間)
eラーニング受講者 15名
訪問看護研修ステップ1 修了者 5名

②医療機関看護職に向けて、在宅療養支援の実際、訪問看護・居宅介護に関する情報の提供

③訪問看護人材確保事業(東京都委託事業)
・訪問看護フェスティバル(再掲)
・情報提供のためのリーフレット、グッズ等の作成・配布

(2)東京訪問看護ステーション協議会との連携

①訪問看護に関する課題の共有と共催事業の実施
・訪問看護ステーション協議会との連携会議
・研修会や訪問看護に関するイベント等の共催
精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会
平成27年4月11日(土)・18日(土)・19日(日)3日間

(3)高齢者・福祉関連施設の看護の充実とネットワークづくり

①高齢者施設、介護福祉関連施設の看護職に必要な研修会の実施
・高齢者ケア、高齢者の看取り、現場に活かすコミュニケーションなど

②交流会・研修会等を通し、ネットワークづくりを推進する
看護管理者交流会開催 平成27年11月27日(金) 参加者47名

2)地域包括ケアシステム構築推進に向けた情報提供および他職種連携

(1)医療機関から在宅療養へのスムーズな移行支援

①医療機関と在宅・福祉関連施設のネットワークづくり
地区における看護職のネットワークづくりの推進
②東京都在宅療養支援員養成研修、及びフォローアップ研修(東京都受託事業)
在宅医療コーディネーター養成研修
開催期間:平成28年1月21日～2月8日 9:30～16:30
(内7日間 見学実習1日含) 修了者55名
在宅医療コーディネーターフォローアップ研修
開催日時:平成28年2月6日(土) 13:30～16:30 受講者29名

③東京都在宅療養移行体制強化事業(東京都受託事業)

退院支援強化研修
開催期間:第一回 平成27年7月2日～8月25日 9:30～16:30
(内7日間 見学実習1日含)

受講者94名 修了者93名 管理監督職修了者99名
第二回 平成27年10月16日～11月30日 9:30～16:30

(内7日間 見学実習含)

受講者99名 修了者92名 管理監督職修了者64名

(2)地区支部との連携と看護職の活動支援

東部地区支部「チーム江戸川」活動支援

(3)東京都や関連団体・日本訪問看護財団・全国訪問看護事業協会等との連携

V 地域住民の保健福祉に関する事業 【定款第4条(5)】

1.地域住民の健康支援に関する事業

1)次世代育成支援活動

(1)両親学級 毎月第2・第4土曜日に開催

内容:妊娠分娩の経過と過ごし方、育児支援

参加者535組

(2)すくすくフェスタ

両親学級受講の親子を対象に、育児相談・栄養相談・

ベビーマッサージ・遊ばせ方等を実施

開催日:平成27年10月17日(土) 参加者38組

(3)出前授業 - つくし野中学校

開催日:平成28年3月10日(木)

2)地域住民健康支援活動

(1)まちの保健室・老人月間活動(活動日は各地区で決定)

地域住民の健康意識の啓発に関する情報提供

①地区支部による「まちの保健室」開催推進

場所:学校、区市町村公共施設、駅等

内容:健康チェック、健康・介護相談等

全実施回数 21回 総参加者数2,070名

②他関係団体への協力

場所:神楽坂六丁目商店街、牛込消防署など

内容:健康チェック、健康・介護相談等

参加者数456名 延べ954名

(2)東京都及び関係団体と協働による健康支援

①看護フェスタ(再掲)

②受動喫煙防止 卒煙サポーター研修

開催日:平成27年6月7日(日) 受講者126名

③東京マラソン救護活動支援(救護スタッフ派遣)

④卓球を通して健康寿命に貢献する会

(3)感染症予防対策事業

①感染症予防に関する情報提供および啓発活動

「冬の感染症対策 ～ノロウイルス感染症・インフルエンザを上げないために～」

開催日:平成27年10月30日(金)・11月9日(月)

受講者数92名

②性感染症予防対策

*エイズ対策と一体化した性感染症予防対策活動の推進

性感染症予防教育(出前授業・公開講座など)

③東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業

エイズの正しい知識ならびに予防行動の普及啓発を図るための支援

エイズ・ピアエデュケーター養成研修

平成27年6月13日(土)(受講者43名)・6月14日(日)(受講者33名)

エイズ・ピア・エデュケーション実施 6施設 17回 受講者1,542名

日本性感染症学会第28回学術大会シンポジウムにてエイズ・

ピア・エデュケーションの一部を紹介

場所:都市センターホテル

3)健康に関する啓発事業

都民公開講座の開催(看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同開催)
開催日:平成28年2月6日(土) 参加者258名
テーマ:認知症の人が感じる世界
講師:齋藤 正彦氏(東京都立松沢病院 院長)

4)ふれあい看護体験等の支援(再掲)

企業・学校等の教育の一環としての体験を支援

2.災害時の看護支援活動に関する事業

1)災害支援ナースの育成と支援活動

- 災害支援ナースの登録推進
 - 災害支援ナースの養成研修
第1回目 平成27年9月18日(金)
第2回目 平成27年11月25日(水) 養成数112名
 - 災害支援ナース登録更新研修
第1回目 平成27年7月29日(水)
第2回目 平成28年1月19日(火) 登録更新数69名
 - 災害支援ナース登録再更新研修
第1回目 平成27年8月28日(金)
第2回目 平成28年2月19日(金) 登録再更新数53名
- 災害支援活動に必要な知識・技術教育
- 災害発生時、日看協及び他県との連携・対策等の情報交換
 - 平成27年9月 関東・東北豪雨 日本看護協会から災害支援ナース派遣依頼
災害支援ナース34名を9地区に派遣
 - 関東・東北豪雨における災害支援ナース交流会開催
平成27年10月31日(土)
 - 日本看護協会主催 災害支援ナース派遣調整合同訓練に参加
平成27年11月10日~12日
参加病院数58施設(対象者数144名)

2)災害発生時に備えての体制・環境整備

- 東京都および他の関連機関とのネットワーク体制の整備
二次保健医療圏単位の地域災害医療体制・支援体制整備への参画、区市町村医療救護活動の周知
- 災害発生時対応シミュレーション・訓練の実施
- 災害時会員施設支援のため、施設における看護確保体制などの基礎調査
- 近隣への支援体制の構築

VI その他この法人の目的を達成するために必要な事業〔定款第4条(6)〕

1.組織強化

1)会員拡大

- 会員数 46,953名
- 新人看護師に対する加入推進
看護管理者及び教育責任者への呼びかけ
 - 未加入者施設への加入促進 一協会活動のPR・施設訪問
 - 看護学生への協会活動のPR 一看護学生看護研究会でPR、入学式、卒業式祝電
卒業前学生への情報提供と入会の勧め、広報誌の配布

2.円滑な組織運営

1)組織運営のための諸会議開催と連携

- 総会開催
開催日:平成27年6月25日(木) 於:日本教育会館 405名

- 理事会 年9回開催
- 常任理事会 年12回開催
- 各委員会

2)地区支部との連携強化

- 地区理事連絡会議による情報交換
二次保健医療圏との連携強化に向け、地区支部の区割りの見直しおよび移動する地区支部会員への周知

3)協会事務局の体制整備および効率的な運用

- 組織内部の仕組みづくりや諸規程等の見直し整備
- 情報システム更新
研修システム、会議支援システム、会員管理システム
- 内部職員の能力を高める研修の実施
開催日:平成27年8月24日(月)
テーマ:マイナンバー安全管理の基本・取り扱いの注意
- 外部研修参加の推進

4)協会内防災対策の整備

- 発災時に備えて、協会内の環境整備をはかり、会館利用者ならびに職員の安全を確保する
- 防災マニュアルの改訂および周知
 - 防災訓練の実施
消防訓練 平成27年12月10日(木)
 - 協会内の防災設備および防災物品の整備
 - 食料・水等の備蓄(発災から72時間分確保)

3.関連機関との連携と政策提言に関する事業

1)公益社団法人日本看護協会との連携

- 日本看護協会諸会議への参加
- 看護職のための各種事業等への協力・支援
- 日本看護サミット参加・協力
開催日:平成27年9月1日(火) 会場:国際フォーラム 参加者18名

2)他団体等関連機関との情報交換と連携

- 政策執行機関への要望書の提出
- 東京都及び関連団体の役員・委員としての参画
- 外部団体からの共催、後援依頼等に関する事項
- 行政機関その他関係機関等の担当者等との情報共有の促進
(本部及び各地区毎)

4.施設の貸与事業

- 会員及び他団体主催の看護に関連する研修や会議等の開催を支援

5.会館建替え

1)建設地の確定

2)建設地の選定と取得への取組

- 一括事業提案者からの提案候補地について選定委員会にて審査し候補地の選定、取得に向けて取り組んだ。

6.法人化30年記念事業

1)30年史の編纂

(平成28年2月29日現在)

平成28年度事業計画

【事業運営方針】

平成28年度は、定款に掲げる6つの事業の実施にあたり、下記の3点に重点をおいた取り組みとする。

1. 地域包括ケアシステム構築の推進
少子高齢化の進展により医療は病院から地域・在宅への地域完結型へと変化し、医療・介護サービスの提供体制の一体的な確保に向かっている。認知症等の要介護高齢者対策、多職種連携、訪問看護の強化等、医療と介護の連携と地域包括ケアを推進する取り組みを強化する。
2. 看護職の資質の向上、人材育成
上記の取り組みを推進するためにも、急性期から在宅のどの場にあっても専門性に基づき適切な判断や対応ができる人材の育成が重要である。看護職の資質の向上を図るための教育や施策を通じ、専門職としてのいい人材が育つよう支援する。
3. 看護職の確保定着
病院・施設や在宅・地域及びへき地の医療・介護現場で働く看護職が健康・安全で働き続けられるよう勤務環境改善を支援するとともに届出制度を利用した就業支援を推進し看護職の潜在化防止、定着を支援する。

I 看護職の資質の向上に関する事業〔定款第4条(1)〕

看護職が日々高度化する看護業務に従事するため、加えて看護を提供する多くの場面に必要な学習として継続的に実施する教育である。専門職としての基礎的知識・技術、医療の質と安全の確保、5疾病5事業及び在宅領域に関連した国の政策等と連動した研修、管理・リーダーシップ能力等の向上をめざした研修を実施する。

1. 継続教育の実施に関する事業

1) 実務実践能力の向上に関する研修

- | | |
|-----------|--|
| (1)看護実践 | } 左記カテゴリ 計93研修
(医療安全管理者養成研修・日看協インターネット研修含む) |
| (2)教育・指導 | |
| (3)マネジメント | |

(4)①訪問看護師育成基本コース:30日間・定員30名
(ナースプラザ研修)

②訪問看護研修ステップ1 eラーニング研修:30名

(5)職能別(保健師・助産師・看護師・准看護師)

(6)地区支部研修の開催

2) 実務実践マネジメント能力の向上に関する研修

(1)認定看護管理者教育課程

ファーストレベル 第1回目 第2回目

定員70名7科目 150時間

セカンドレベル 第1回目 第2回目

定員30名5科目 180時間

3) 看護教育実践能力の向上に関する研修

(1)東京都新人看護職員研修責任者・教育担当者研修(東京都受託予定)
定員150名 1日間 各2回 計4回

(2)実習指導者研修(ナースプラザ研修)定員75名 40日間 3回

4) 教育計画の配付:会員及び会員・非会員施設に送付

2. 各職能の専門性向上のための事業

1) 各職能の実践能力向上や機能強化のための研修や指針等の周知・普及

(1)保健師

①中堅期保健師育成プログラム実施に向けての検討
・情報収集-他県におけるプログラム実施視察

②保健指導ミーティングの実施-アセスメント能力を
高めるための研修

開催日時:平成28年7月16日(土) 10:00~12:00予定

(2)助産師

①研修・学習会

・新人助産師研修-母乳育児支援

・助産実践能力向上のための研修

・産科管理者交流会-院内助産

・子育て支援事業運営委員会企画学習会

②助産師出向支援導入事業(東京都から委託予定)

よりよい助産ケア提供に向け出向を活用し助産実践能力の
強化を図る。

2) 認定看護管理者・専門看護師・認定看護師(以下、認定看護職)の活動支援

(1)認定看護職活動支援

(2)認定看護職研修会の開催

3. 学会開催

看護実践に根ざした看護研究の支援や看護職の学術研究振興のために看護研究学会を開催する。

1) 看護学生看護研究学会

開催日:平成28年11月22日(火)

会場:文京シビックホール

内容:口演発表、示説発表、特別講演、学生交流ひろば

2) 看護研究学会

開催日:平成29年1月28日(土)

会場:教育会館

内容:口演発表、示説発表、特別講演、シンポジウム、
看護用具創意工夫

4. 看護研究助成

1) 看護研究のレベルアップを図るための支援(※共益事業)

(1)先駆的研究助成:1件30万円を限度に3件以内

(2)看護実践の向上や改善に役立つ取り組み:1件3万円を5件以内

5. 図書室の運営

看護分野における専門図書室として、関係図書資料及び看護文献に関する資料の収集を図り、利用者が必要とする情報の提供を迅速に行う。

1) 図書室の効率的な運営と管理機能の適正化 Web検索の迅速化

2) 蔵書の充実

6. その他看護職の資質向上に関する事業

国内外の視察・見学等を企画・運営するとともに他国からの視察要請等に対応する。また、総会・学会等の場を活用し、看護職への最新情報や知見を提供する。

1) ソウル特別市看護協会との交流事業(訪韓予定)

2) 日中韓看護学会(北京)

3) 総会・学会における講演会

(1)総会特別講演

開催日:平成28年6月22日(水)

7. 教育研修実績集の作成

1) 看護職の資質の向上に関する事業の集録(教育部)

II 看護業務の開発・改善及び情報提供に関する事業〔定款第4条(2)〕

看護に係る調査・研究による最新情報の発信、看護職の役割変化等に関連した看護業務の開発・改善・普及啓発、及び医療安全や看護に関する新しい知見等の情報提供を行うとともに課題提言を行う。

1. 看護業務の開発・改善に関する事業

- 1) 看護業務の開発・改善に資する各種調査の実施
- 2) 資料の収集、データの蓄積
- 3) 業務改善・開発及び政策提言のための資料の作成

2. 医療安全推進事業

医療の質と安全確保のための情報提供を行う

1) 医療安全推進のための都民公開講座

「医療安全フォーラム」の開催
開催日：平成28年11月26日(土)
会場：東京都看護協会会館

- 2) 医療安全相談窓口の紹介
- 3) 医療安全関連情報の提供

3. 看護管理者・教育責任者交流事業

看護管理者・看護教育責任者が抱える問題を把握するとともに、解決策を検討し組織運営に活かす。

1) 講演会・交流会の開催

開催期日：第1回目 平成28年7～8月予定
開催期日：第2回目 平成29年2～3月予定

2) 情報提供

4. 各職能に関連する情報提供と交流事業

各職能が交流することで、保健・医療・福祉に関する最新の知見や各職能の課題について情報交換・情報共有し、看護職の専門性強化や社会への課題提言を行う。

1) 職能交流会の開催

日時：平成28年7月16日(土) 13:30～17:00予定
会場：東京都看護協会会館
(1) 各職能の活動についての情報共有
(2) 三職能合同の講演会あるいはシンポジウム

2) 准看護師交流及び情報提供事業

(1) 交流会の開催
開催日：平成29年2月7日(火)
(2) 進学支援
「看護師学校養成所2年課程」への進学支援 - 進学情報の提供(説明会開催)
開催日：平成28年7月19日(火)
会場：東京都看護協会会館

3) 新しい看護の役割拡大に関する情報収集と発信

・特定行為に係る看護師研修制度について

4) セカンドキャリアの活躍推進に関する事業

・情報提供
・研修会等

5) 産業保健師交流及び情報提供

5. 広報活動に関する事業

看護職及び都民に対して協会活動・事業案内・医療情報・看護情報・看護職の意見等様々な情報を提供する。

1) あらゆる機会を使ったタイムリーな情報発信

(1) 広報紙の発行(※共益事業)
① 会員向け 会報「看護とうきょう」NURSING in TOKYO

最新の医療看護情報や協会活動についての情報発信と会員相互が交流を図れる会報誌づくり

・発行期日：①4/20 ②7/20③10/20④1/20 A4判20頁

・発行部数：①②③④約50,000部(各会員に1部)

② 都民に向けた情報提供

都民向け、健康情報等の提供や看護活動の紹介(HP等活用)

(2) 卒業前看護学生へ専門職団体の役割等を紹介するためのパンフレットの配布、協会活動の紹介(6,000部)

(3) ホームページの充実

会員へのホームページの活用方法の周知・活用推進

III 看護職の確保定着推進に関する事業〔定款第4条(3)〕

都内の看護職の確保及び定着の他、看護の普及啓発を図る取り組みを行う。(東京都委託事業を東京都看護協会が受託し東京都ナースプラザが実施する)

1. 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業

1) 無料職業紹介(ナースバンク)(飯田橋・立川)

(1) 利用者ニーズに応じた再就業支援

① 「eナースセンター」の活用による再就業支援

② プランニングシートを活用した就業支援の充実

③ 就業機会促進の場の提供(求人施設とのマッチング)

・ふれあいナースバンク(再就職相談会)の開催

・ミニ就業相談コーナーの実施

④ 看護技術の再学習・再確認

ビデオ・体験コーナーの活用についての周知と充実(ナースバンク立川)

⑤ 再就業者数の正確な把握

⑥ 人材確保・定着のためのセミナー、研修等の開催 年2回

⑦ 東京労働局・ハローワーク・区市町村等との連携強化

相談事業の継続・拡大。求人・求職情報の共有・活用

2) 届出制度を活用した看護職員復職支援事業

・退職時のナースセンター登録努力義務化の推進

・地域密着型(医師会との共催による)の就職相談会の開催

3) 看護職員地域確保支援事業：潜在看護職を対象に復職を支援する。

・地域就業支援病院の募集

4) 東京都看護職員定着促進のための巡回訪問事業

200床未満の病院を対象に、就業協力員が巡回訪問し、勤務環境や新人看護職員研修体制・院内教育体制構築やサテライト研修等の取り組みへの支援を行う。

5) 訪問看護人材確保事業

① 訪問看護フェスティバルの開催

開催日：平成29年1月14日(土)

会場：東京都庁第一本庁舎5階大会議場

② 訪問看護に関する情報提供のためのリーフレット、グッズ等の作成・配布

6) 烏しよ看護職員確保定着促進事業(東京都からの受託予定)

(1) 出張研修

(2) 短期代替看護職員派遣

7) ワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業

看護職の働く環境の改善・整備のための支援を行うことで看護職の定着・離職防止をめざす取り組み

(1) 労働環境改善のための支援 - 勤務環境改善支援センターとの連携

(2) 出産・育児による離職防止

2. 研修事業

1) 就業意欲を高める研修

2) 資質向上・定着促進に向けた研修

3) 訪問看護師・実習指導者のための研修(再掲)

保健師助産師看護師実習指導者研修(特定分野) 定員40名 7日間

4) 再就業支援研修

受講者へふれあいナースバンク参加を促す等、研修とナースバンクの連携強化

・セカンドキャリア研修の開催 年1回

3. 普及啓発事業

看護職及び一般市民に看護に関する関心と理解を深めてもらえるよう、看護の魅力や重要性を伝えるための取り組みを行い、看護職をめざす人材を確保する。

1) ナースプラザの情報発信の推進

- (1) 主に求人・求職のための情報発信
・ホームページの運営、メールマガジンの配信
- (2) 事業案内・ポスター・パンフレット・PRカード等作成・配布
- (3) 新聞折込広告・タウン情報誌・インターネット広告等の活用

2) 「看護の魅力」普及啓発の推進

- (1) 情報誌「やっぱり看護が好き」の発行
- (2) 高校生・中学生・社会人の一日看護体験学習の実施(7～8月開催)
- (3) 高校3年生対象とした一日看護体験学習の実施(5月)
- (4) 看護学校進路相談 - 「看護職をめざすあなたへ」発行

3) ふれあい看護体験の支援

対象：教育等の一環として企画された団体、学校等
開催期間：平成28年5月8日(日)～14日(土)

4) 「看護フェスタ」の開催(「看護週間」における行事)

開催日：平成28年5月14日(土)
会場：新宿駅西口広場イベントコーナー
内容：多職種チームとの連携による健康チェック、健康相談、介護相談、就業相談、進路相談、ミニ講座、クイズラリー等
*参加者へ看護の日記念グッズ配布

IV 在宅ケアの推進と支援に関する事業 〔定款第4条(4)〕

地域住民が住み慣れた地域で安心して生活できるように、在宅・介護福祉施設等の看護の機能を強化するとともに地域の関係機関との連携を図り、在宅ケアを推進する。

1. 地域包括ケアシステム構築の推進

医療・介護連携、多職種連携の推進と訪問看護や高齢者ケア施設の看護の充実を図るため、それらに携わる看護職の資質向上のための研修やネットワークづくりを支援する。また、他の関連団体との連携を図り、地域包括ケアシステム構築に向けた情報を提供するとともに在宅ケアの充実のための支援を行う。

1) 在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進

- (1) 訪問看護師の育成と在宅ケアの充実に向けた支援
 - ① 訪問看護師の養成研修、リーダー研修、実習指導者研修、訪問看護eラーニングを活用した教育支援
 - ② 医療機関看護職に向けて、在宅療養支援の実際、訪問看護・居宅介護に関する情報の提供
 - ③ 訪問看護人材確保事業(東京都委託事業)
・訪問看護フェスティバル(再掲)
・情報提供のためのリーフレット、グッズ等の作成・配布
 - ④ 東京都新任訪問看護師就労応援事業(東京都委託事業)
・新人育成のための情報提供
- (2) 東京訪問看護ステーション協議会との連携
 - ① 訪問看護に関する課題の共有と共催事業の実施
・訪問看護ステーション協議会との連携会議
・研修会や訪問看護に関するイベント等の共催
精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会
開催期日：平成28年5月29日(日)、6月4日(土)・5日(日)の3日間
会場：東京都看護協会
- (3) 高齢者・福祉関連施設の看護の充実とネットワークづくり
 - ① 高齢者施設、介護福祉関連施設の看護職に必要な研修会の実施
・高齢者ケア、高齢者の看取り、現場に活かすコミュニケーションなど
 - ② 交流会・研修会等を通し、ネットワークづくりを推進する
高齢者ケア施設の看護管理者交流会
開催日：平成28年11月予定

2) 地域包括ケアシステム構築推進に向けた情報提供及び多職種連携・協働

- (1) 医療機関から在宅療養へのスムーズな移行支援

- ① 医療機関と在宅・福祉関連施設のネットワークづくり
地区における看護職のネットワークづくりの推進
 - ② 東京都在宅療養支援員養成事業(東京都委託事業)
在宅療養支援員養成研修
開催期間：平成29年1月17日(火)～2月15日(水)
 - ③ 東京都在宅療養移行体制強化事業(東京都委託事業)
退院支援強化研修
開催期間：第1回 平成28年6月30日(木)～8月25日(木)
(内7日間)
第2回 平成28年10月6日(木)～11月28日(月)
(内7日間)
- (2) 地区支部との連携と看護職の活動支援
東部地区-「チーム江戸川区」の活動支援
 - (3) 東京都や関連団体・日本訪問看護財団・全国訪問看護事業協会等との連携

2. 訪問看護・居宅介護支援事業

公益社団法人の訪問看護事業として、専門性を活かし医療依存度の高い人や、管理の難しい器具等を利用している人、新興感染症に罹患した人など、対応困難として依頼された利用者を受け入れるとともに、地域連携を推進する。また、看護学生や看護体験者の実習を受け入れ、看護職及び訪問看護師の育成を支援する。

1) 千駄木、城北訪問看護ステーションの運営

- (1) 訪問看護事業
- (2) 居宅介護支援事業
- (3) 居宅療養管理指導事業
- (4) 関連機関との情報交換と連携
訪問看護サービス事業者、訪問看護ステーション、病院・介護施設、行政等
- (5) 看護学生及び看護職研修生の受け入れ
 - ① 看護学生(3年課程・4年課程)
 - ② 訪問看護師育成研修受講生
 - ③ その他

2) 協会立訪問看護ステーションのあり方の検討

社会・地域のニーズを把握するとともに、地域連携を推進し、より地域に根ざした訪問看護ステーション活動を充実するための体制を整備し対応策を検討する。

V 地域住民の保健福祉に関する事業 〔定款第4条(5)〕

地域住民の健康維持・増進の普及啓発を図るための取り組み

1. 地域住民の健康支援に関する事業

1) 次世代育成支援活動

- (1) 「両親学級」
対象：初産婦とパートナー 毎回25組
開催期日：毎月第2・第4土曜日13:00～15:00
内容：妊娠分娩の経過と過ごし方、育児支援
- (2) 「すくすくフェスタ」
対象：両親学級受講の親子
内容：育児相談、栄養相談、ベビーマッサージ、遊ばせ方等
年1回
- (3) 出前授業(命の大切さ、職場における母性保護など)
学校・企業等へ出張

2) 地域住民健康支援活動

- (1) まちの保健室・老人月間活動(活動日は各地区で決定)
健康チェックや情報提供による地域住民の健康意識の啓発活動
 - ① 地区支部による「まちの保健室」開催推進
会場：学校、区市町村公共施設、駅等
内容：健康チェック、健康・介護相談等
 - ② 他関係団体への協力
会場：神楽坂六丁目商店街、牛込消防署など
内容：健康チェック、健康・介護相談等

- (2)東京都及び関係団体と協働による健康支援
 - ①看護フェスタ(再掲)
 - ②受動喫煙防止 卒煙サポーター研修
開催期日:平成28年6月12日(日)
会 場:東京都看護協会会館
 - ③東京マラソン救護活動支援(救護スタッフ派遣)
開催日:平成29年2月26日(日)予定
 - ④卓球を通して健康寿命に貢献する会
・ミニイベント開催 - 年2回程度
・研修生等への普及啓発
- (3)感染症予防対策事業
 - ①感染症予防に関する情報提供及び啓発活動
・新型インフルエンザ等,新興・再興感染症発生時の対応
(情報提供や相談対応)
 - ②性感染症予防対策
・エイズ対策と一体化した性感染症予防対策活動の推進
性感染症予防教育(出前授業・公開講座など)
 - ③東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業
エイズの正しい知識ならびに予防行動の普及啓発を図るための支援
・エイズ・ピア・エデュケーター養成研修
開催期日:平成28年6月18日(土)・19日(日)(2日間)
会 場:東京都看護協会
・高校・大学・専門学校等で,エイズ・ピア・エデュケーションの実施

3)健康に関する啓発事業

都民公開講座の開催(看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同開催)

4)ふれあい看護体験等の支援(再掲)

企業・学校等の教育の一環としての体験を支援

2. 災害時の看護支援活動に関する事業

災害発生時においても住民ができるだけ健康を維持できるよう,必要な支援が可能となる看護支援体制を整備する。

1)災害支援ナースの育成と支援活動

- (1)災害支援ナースの登録推進
- (2)災害支援活動に必要な知識・技術教育
 - ①災害支援ナース養成研修
第1回平成28年7月29日(金) 第2回平成28年11月21日(月)
 - ②災害支援ナース更新研修
第1回平成28年8月29日(月) 第2回平成29年2月17日(金)
 - ③災害支援ナース再更新研修
第1回平成28年10月17日(月) 第2回平成29年1月23日(月)
 - ④災害支援ナース交流会
開催日:平成28年10月24日(月)
- (3)災害発生時,日本看護協会及び他県との連携・対策等の情報交換

2)災害発生時に備えての体制・環境整備

- (1)東京都及び他の関連機関とのネットワーク体制の整備
二次保健医療圏単位の地域災害医療体制・支援体制整備への参画,区市町村医療救護活動の周知
- (2)災害発生時対応シミュレーション・訓練の実施
- (3)災害時会員施設支援のため,施設における看護師確保体制などの基礎調査
- (4)近隣への支援体制の構築

VI その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条(6)】

専門職能団体として公益事業を展開するために看護職の入会を促進する。また,事業運営に必要な会議の開催や行政機関及び関連団体等の活動に協力するとともに,当協会が実施する公益活動への協力を要請し,当協会の目的達成を図る。

1. 組織強化

1)会員拡大(前年度に比し750人増を目指す)

- (1)新人看護師に対する加入推進
看護管理者及び教育責任者への呼びかけ

- (2)未加入者施設への加入促進
・協会活動のPR・施設訪問
- (3)看護学生への協会活動のPR
・看護学生看護研究学会でPRを行う
・入学式,卒業式祝電
・卒業前学生への情報提供と入会の勧め
・広報紙の配布(10月号を配布)

2)会員登録管理の効率化

新システムの運用状況の評価・改善

【配布資料】 ガイダンス:Tokyo Nursing Association
看護職賠償責任保険制度
*研修行事等関係資料のお知らせ

2. 円滑な組織運営

1)組織運営のための諸会議開催と連携

- (1)総会 年1回
日時:平成28年6月22日(水) 10:00~15:10
会場:日本教育会館
- (2)理事会 年6回以上
- (3)常任理事会
- (4)職能委員会
- (5)他の委員会

2)地区支部との連携強化

- (1)地区理事連絡会議による情報交換,活動支援
- (2)保健・医療における効果的な地区活動の推進
二次保健医療圏との連携を図り,地域包括ケア推進や災害時の地域における連携体制や支援活動について情報共有を図り効果的な地区活動を推進する。

3)協会内部の効率的な組織体制の整備

- (1)組織内部の仕組みづくりや諸規程等の見直し整備
- (2)内部職員の能力を高める研修の実施
- (3)外部研修参加の推進

4)防災対策の整備

- 発災時に備えて,協会内の環境整備を図り,会館利用者ならびに職員
の安全を確保する
- (1)防災マニュアルの改訂,周知及び訓練の実施
訓練 年2回(5月・10月予定)
 - (2)協会内の防災設備および防災物品の整備
 - (3)食料・水等の備蓄(発災から72時間分確保)
 - (4)支援ナース派遣に備えての物品等の点検・整備

3. 関連機関との連携と政策提言に関する事業

1)公益社団法人日本看護協会との連携

- (1)日本看護協会諸会議への参加
- (2)看護職のための各種事業等への協力・支援

2)他団体等関連機関との情報交換と連携

- (1)政策執行機関への要望書の提出
- (2)東京都及び関連団体の役員・委員としての参画
- (3)外部団体からの共催,後援依頼等に関する事項への対応
- (4)行政機関その他関係機関等の担当者等との情報共有の促進

4. 施設の貸与事業

看護に関する専門的教育及び学術の振興ならびに地域社会への貢献を図る事を目的に実施するものについて施設の貸与を行う。

1)看護に関連する研修等の開催の支援活動

5. 会館建替え

- 1)建設計画
- 2)その他

6. 法人化30年記念事業

- 1)30年史の編纂・発行 — 平成28年6月発行予定
- 2)記念式典 — 平成28年6月22日(水)

東京都ナースプラザは「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、東京都の指定を受けたナースセンターとして、看護職の確保・定着に関する4つの事業、

①ナースバンク ②研修 ③看護師についての普及啓発 ④看護職員地域確保対策を行っています。

今回は研修事業についてご紹介いたします。

超高齢社会となっている現在、医療や看護は病院から地域・在宅へと移行しています。看護職には急性期から在宅療養まですべての健康段階で継続的な看護を提供することが求められており、看護職の働く環境も大きく変化してきています。

東京都ナースプラザはこうした社会の要請に応えるべく、「都内在住で再就職をめざす看護職の支援」と「都内中小規模施設に働く看護職員のさらなる資質向上と定着」を目的とした研修を行っています。

平成28年度の研修では、新規研修4科目を加え、9コース・総研修53科目を実施予定です。より多くの方々が受講しやすいようにコース数や定員を増やすなど見直しを行いました。また、研修内容全般としては、看護職の質の向上と再就職支援となる研修の充実に加え、療養環境の変化に即した研修の充実も図りました。特に、「今日的課題研修」では、今年で5年目を迎えた東日本大震災の現場で活躍された看護部長より、震災時の実際や震災後の高齢者介護施設での取り組みなどを講演していただきます。

【平成28年度 新設研修】

- ★最新の知見・技術研修 : 「パーキンソン病患者の療育支援～緩和ケアの視点から～」
- ★在宅・地域看護関連研修 : 「小児訪問看護の実際」
- ★今日的課題研修 : 「震災を振り返って～震災時・震災後の高齢者介護施設での取り組み～」
「医療機関でのクレーム対応～組織としてクレームにどう対応するか～」

平成28年度の研修一覧はホームページ上にも公開しています。ぜひ一度ご覧ください。

多くの看護職の皆様のご応募をお待ちしております。

東京都ナースプラザ ホームページ <https://www.np-tokyo.jp/>



「実習指導者研修」指導案演習発表会



平成28年度「研修計画」「研修計画一覧表」

(研修担当 こま 高麗)

「看護師等の人材確保の促進に関する法律(平成27年10月1日改正)」が施行され、都道府県ナースセンターへの届出が努力義務化されました。対象は、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をお持ちで仕事をされていない方です。個々の看護職の皆様をはじめ、施設管理者の皆様には、円滑に届出が進められますようご協力いただきたく、重ねてお願いいたします。

教育部研修係からのお知らせ

平成 27 年度【実務実践能力向上に関する研修】実績について報告いたします。

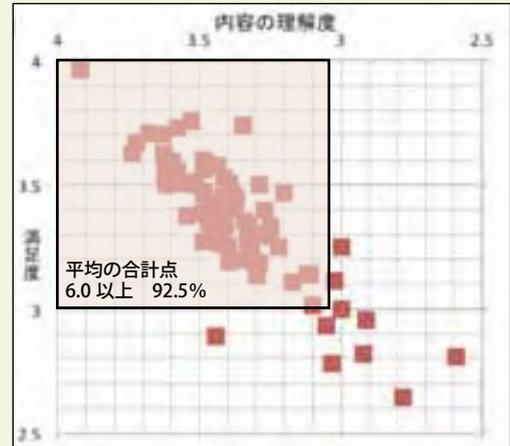
看護実践・教育指導・マネジメントの3カテゴリで予定通り、91 研修を実施いたしました。

① 総応募者数 **6,088** 人 総受講者数 **5,858** 人

受講者 4,782 人（非会員除く）の施設別割合の内訳は、大学病院を除く 300 床以上、41.4%、300 床未満 29.6%、大学病院のみ 29.0%の順でした。

② 受講者のアンケート結果

研修の「内容の理解度」および「満足度」「レベル」を4段階で回答いただいています。上記「内容の理解度」および「満足度」について各研修の平均点を分析した結果、右グラフに示すように平均点 6.0 以上 80 研修中 74 研修 (92.5%) が「理解できた」「満足できた」と回答していました。



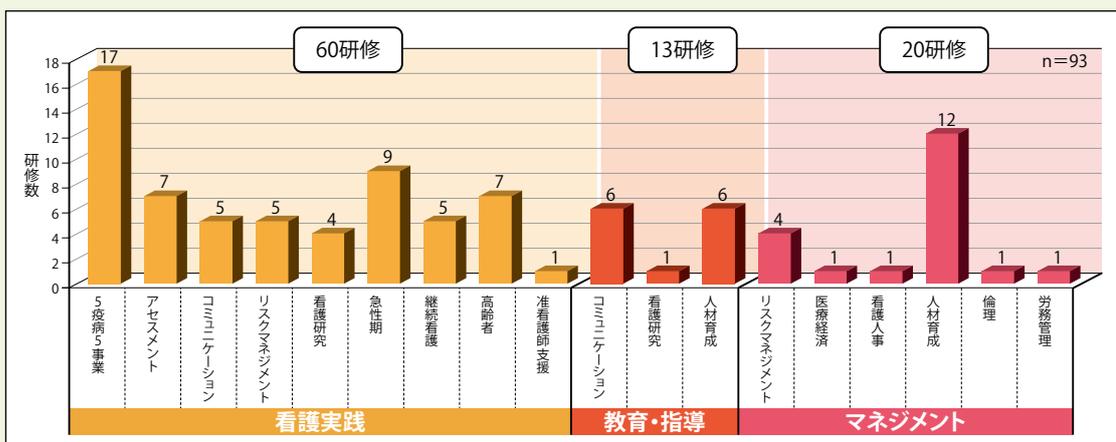
平成 28 年度 研修計画

■ 研修計画の特徴

- ① 東京都看護協会重点事業および国の医療政策 5 疾病 5 事業に関する研修を継続する。
- ② 地域包括ケアの推進に向けて、制度の理解と高齢者の特徴を捉えた退院調整・継続看護・地域連携の研修数を増やし、充実を図る。
- ③ 「看護実践」研修では、看護を実践する上で重要となる判断力（アセスメント）を強化するための検査データ（循環器・呼吸器）の読み方を付加する。
- ④ 「教育・指導」研修では、シナリオを活用したシミュレーションの教育方法と、臨床現場での逆境にも折れない心（レジリエンス）を鍛える技術を企画する。
- ⑤ 「マネジメント」研修では、問題を広く捉えて意思決定するために必要な概念化能力を鍛える、看護管理者育成のためのコンピテンシー・モデルの紹介、チーム医療をめざしたチームビルディングの実践方法などを企画する。

● 平成 28 年度 各カテゴリ総研修数 93 研修

① 各カテゴリの研修タイトルに対応するフラグ構成



研修フラグ (14)
5 疫病 5 事業
アセスメント
リスクマネジメント
看護研究
急性期
継続看護
高齢者
准看護師支援
コミュニケーション
人材育成
医療経済
看護人事
倫理
労務管理

② 新規研修のご紹介

今年度、新しく企画した 16 研修のお薦めポイントを掲載しました。

「看護実践」の研修では、普段何気なく実践していることをしっかり根拠を持って実施できるような研修や、これからますます推進される在宅移行支援について学べる研修を企画しました。「マネジメント研修」「教育・指導研修」では、多様化する後輩や部下をマネジメントする能力を養い、指導できるスキルを学べる研修を企画しました。1 人ひとりが立場や役割に応じて学べる機会ですので、新規研修にも是非ご参加ください。

カテゴリ	研修名	おすすめのポイントはここ！
看護実践	心臓カテーテル治療 ：基礎の理解と注意すべきこと	心臓カテーテル治療を行うための術前のアセスメントやチーム医療における看護師の役割についても学ぶ機会になります。循環器に勤務していない方も、死因第 2 位の心疾患の理解を深めるとともに最新の心臓カテーテル治療について学んでみませんか？
看護実践	意外と知らない輸液療法 －循環器疾患編－	毎日当然のように輸液管理が行われていますが、なぜその輸液製剤を選んだのか、なぜそのスピードで落とすのか、そもそも何のために輸液するのか、副作用はないのかなど、次々に疑問が浮かぶと思います。意外と知らなかったことが 1 つはあると思いますので、看護師には必須の研修です。
看護実践	看護研究入門（1） 「看護研究の基礎：文献検討から論文執筆まで」	研究に取り組んでいる、または取り組む予定のある看護職の皆さん！量的研究、質的研究を含めて研究テーマを絞り込むための文献検討から、研究デザイン、研究倫理など、論文執筆まで、研究のプロセス全体をワークしながら学ぶことができます。
看護実践	看護研究入門（2） 「事例研究にとりくんでみませんか」	看護研究入門（1）に引き続き、現場の方々にとってもっともなじみやすいと思われる事例研究について、今までの事例研究を少しパワーアップした形の事例研究を提案いたします。こちらも事例についてグループワークを実施します。看護研究入門（1）（2）両日学ぶもよし、各々単体で学ぶもよしといたします。
看護実践	急性期・周術期の栄養管理の基礎を学ぶ	急性期・周術期の栄養管理は、術後の経過に大きく影響を及ぼします。最新の栄養管理を学ぶことで、周術期の栄養の評価とアセスメント力の向上を目指してみませんか？
看護実践	在宅への道 退院支援・退院調整	4 月の診療報酬改定でもわかるように、在宅医療がますます重要となってきます。日頃退院調整に関わっている看護職の方のために企画しました。在宅移行支援の現状を理解し、困難事例への対応についても学ぶことができます。困難事例をお持ちの方は是非ご参加ください。
看護実践	リスクマネジメントに対応する看護記録	看護師の特定行為の研修制度や医療事故の調査に関わる仕組みが施行され、実施した処置等の記録を適切に残すことが重要となっています。法的な視点から看護記録について学ぶ機会ですので、記録委員や指導者の方にお勧めします。講師は弁護士と看護師の資格を持つ友納 理緒先生です。
教育・指導	一般病院でもできる！シナリオを使用したシミュレーション教育の基本と方法	講師はシミュレーション教育の第 1 人者である、阿部幸恵先生です。効果的な教育を行うために、シナリオを用いたシミュレーション教育の考え方を学び、自施設でも活用してみませんか？
教育・指導	初めての教育担当・教育委員	初めて教育担当者、教育委員に選ばれたけれど何をしたいのかわからない、これでいいのか心配という方におすすめです。院内研修の企画書作成の過程を通して役割と研修の全体像を身につけていきます。
教育・指導	看護師がレジリエンス（折れない心）を鍛え逆境を乗り越えるための技術	そろそろ独り立ちが求められるようになってきた 2～4 年目の方！心が折れそうになることはありませんか？ 仕事にストレスはつきもの、とわかっていてもどうやって乗り切ればいいのかかわからない方のために企画しました。失敗やストレス体験を克服でき、前向きな気持ちになれる研修です。
マネジメント	コンピテンシー・モデルについて学ぶ －自己成長と他者育成のヒントを学ぼう－	コンピテンシーって現場で使っていけるのか心配という看護管理者の方におすすめです。定義や評価水準の紹介だけでなく、看護管理場面の振り返りを参加者間で話し合いながら理解を深めていきます。
マネジメント	概念化能力を強化して意思決定に強くなる！	管理者として散在する問題に対して、問題の本質を理解する「概念化スキル」をトレーニングします。抽象的／具体的、大局的／分析的、主観的／客観的、直感的／論理的、長期的／短期的の 5 つの思考軸で思考を動かすことで“本質を見極める”「コンセプトチュアル思考」の力を理解し、意思決定に自信をつけましょう！
マネジメント	チーム医療の実現を目指した看護組織のチームビルディングの方法を学ぶ	チーム医療の重要性が叫ばれていますが、複雑性が高い医療の現場で、チーム医療が実現できていますか？ チームにおける看護の役割を考え、チーム医療のための看護組織の構築の方法について学ぶことができます。成果を生み出すチーム作りを学んでみませんか？
マネジメント	管理者のための人材育成のポイント	看護実践の質を上げたい！でもスタッフのやる気や活気をどう引き出せばよいかお悩みの方におすすめです。看護管理者のための人材育成の考えかたや育てるエッセンスを共有しましょう。
マネジメント	明るい看護の職場づくりのために －管理者のための職場のパワーハラスメントの基礎知識－	職場の「パワーハラスメント」が社会問題として顕在化してきています。病院でもそれは例外ではありません。看護管理者の皆さん、パワーハラスメント防止に関する基礎知識を得て、自らがモデルとなるよう、明るい看護の職場づくりについて考えてみませんか？
マネジメント	人材育成にいかす ティーチングとコーチング	主任以上の職位にある方を対象とした認定看護管理者教育課程ファーストレベルで学ぶ内容の一部です。スタッフ指導で悩んでいる方、日頃のスタッフとの対話からリーダーシップについて振り返ってみましょう！

■認定看護管理者教育課程のお知らせ

今年度は、サードレベルを休講いたしますので、「ファーストレベル」「セカンドレベル」各 2 回を開催いたします。詳細は先にお送りしている「応募要項」を確認ください。

※詳しくは、平成 28 年度 教育計画（ピンクの冊子）をご覧ください。



看護研究学会を終えて

日時：平成 28 年 1 月 23 日（土） 10:00～16:00

会場：日本教育会館 参加者：337 名

学術推進委員 柳橋 礼子

東京都看護研究学会は、平成 25 年度から「マイタウン TOKYO Just な都市型看護をめざします！」を継続テーマとして開催してきました。これまでの 3 年間は超高齢社会を迎えた首都圏特有の問題や課題に焦点を当てたサブテーマで、これからの都市型看護のあり方につながるような話題提供をしてきました。

平成 27 年度は 2020 年東京オリンピック開催という前向きな話題に注目し、「ケアのバトンの渡し方・渡され方」をサブテーマにしようということになりました。参加者は 337 名、口演・示説あわせて 46 演題となりました。演題は「臨床現場の課題や改善活動を広く情報交換し議論することで、実践に役立てていただく」という考えから、看護研究・実践報告・看護用具創意工夫の 3 分類でエントリーができるようにしました。さまざまな領域での演題を申し込んでいただき、活発な意見交換ができたのではと考えています。

基調講演では、北京五輪 4 × 100 m リレー銅メダリストの朝原 宣治あさはらののぶはる氏を迎えて「バトンをつなぐ チームワークとコミュニケーション」というテーマでご講演をいただきました。オリンピックで素晴らしい成果を上げるためには、「チームビルディングと戦略的なマネジメント、そしてそれを成し遂げるためには強いリーダーシップが必要」「戦略計画を立てるためにはデータ収集と分析が不可欠である」というお話を伺いました。医療や看護とは異なる分野でも目標を達成するための方略は同じであり、私たちも「看護ケアの質改善をするためには研究的な手法で成果を確認していく必要がある」とあらためて実感できました。

シンポジウムでは、急性期から回復期、病院から訪問看護ステーションのケースで、「ケアのバトンの渡し方・渡され方」の話題提供がありました。地域包括ケアシステムの構築には医療機関等と在宅ケアへの上手な連携が必要となります。上手にバトンを渡すための方法や特徴を考慮し、工夫していることなどを発表していただきました。参加者の方からは、「看護ケアのバトンを効果的にタイミングよく渡していくために、継続して意見交換ができる場をつくっていけるとよい」という意見を多くいただきました。

これからの東京が迎える新たな時代で、新たな看護ケアのバトンを渡す舞台の構築に向けて、参加者の皆様と一緒に考えることができた看護研究学会での 1 日となりました。

次年度も会員の皆様と活発な意見交換ができるよう検討しています。ぜひ、お誘いあわせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。



朝原 宣治 氏



嶋森 好子 会長



シンポジウム



示説発表



訪問看護フェスティバル ～魅せます！訪問看護～



進路・就業相談



特別講演 落合 恵子氏



リレートーク



公開座談会

日時：平成 28 年 1 月 16 日（土）10:00 ～ 15:30

会場：東京都庁第一本庁舎 5 階大会議場

参加者：326 名

共 催：東京訪問看護ステーション協議会

- ・特別講演：「ひとりひとりが主役の社会 母に歌った子守歌」
落合 恵子氏
- ・リレートーク：「始めてよかった訪問看護」
- ・公開座談会：「頼りにしています！ 訪問看護」
- ・相談会：看護・介護相談、進路相談、就業相談
- ・展示コーナー：訪問看護の紹介、医療・介護用品

本イベントは今回で 3 回目の開催となり、都民をはじめ、訪問看護師をめざす看護師や現職の訪問看護師が多数参加し、盛況のうちに終了しました。

アンケートでは「来年もぜひ参加したい」「いつかは訪問看護師になりたい」「大変勉強になりました」等のコメントも寄せられました。

訪問看護普及・啓発の一助となるよう、さらなる内容充実をめざしていきます。

在宅医療コーディネーター養成研修

平成 28 年 1 月 21 日から 2 月 8 日のうちの 7 日間、「在宅医療コーディネーター養成研修」を開催しました。この研修は、東京都が在宅医療推進のために、医療・介護にかかわる多職種の人材育成・確保の取り組みとして「在宅療養支援員養成事業」を行っており、受講対象は区市町村の窓口担当者（予定者含）です。

在宅ケア移行支援研究所の宇都宮宏子氏を中心とした本研修のプロジェクトチームメンバーや、東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所の医師、平原佐斗司氏らによる講義や演習が実施されました。また、平成 27 年度はプログラムの一部を変更し、在宅医療移行に関する連携のあり方がイメージできるように「在宅医療移行に関する課題と連携のあり方」についての講義を取り入れました。先行事業に取り組んでいる豊島区・大田区・板橋区の在宅療養支援員の方々による実践報告や訪問看護ステーションの見学実習など、1 日も欠くことのできない充実したプログラムの研修です。

「移行支援のプロセス」では、宇都宮氏の講義のあと、在宅移行支援に必要な情報の整理の仕方や、在宅移行支援時に、だれと・何を・どのように連携・調整するのかについて、事例をもとにグループワークを実施しました。受講者からは「在宅医療コーディネートシ

ーの内容と照らし合わせながら、もれのないようアセスメントしたことで、ふだん自分が見落としていた情報があることに気づくことができた」「ケアマネジャーを含めた全関係者（本人・家族・病院職員等）に助言や支援を行うことが、在宅医療コーディネーターの役割なのだとあらためて実感した」などのコメントがありました。

最終日はアクションプランを作成し、全員の前で 1 人ひとりが決意表明を行いました。

地域全体での顔の見える連携づくりを推進し、在宅療養を支える「在宅医療コーディネーター」として、ご活躍されることと確信しております。

※詳細は東京都看護協会及び東京都福祉保健局のホームページ参照



平原氏による講義

保 助 看

のページ

1年目を振り返って

保健師

石神井保健相談所
地域保健係
佐藤 綾
Sato Aya



入区してからこれまで

練馬区に入区して1年が経ちます。人とかかわる仕事をしたいと思っていた私は、先輩保健師からお話を伺ったとき、「保健師は赤ちゃんからお年寄りまでかかわれる仕事だよ」という言葉に惹かれました。現在、担当する地区の中で、主に子育て中の親子や精神疾患を抱えている方とかかわっています。

練馬区では、4ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児の乳幼児健診と、1歳、2歳の子育て相談が行われています。腹ばいしていた子が1人で歩けるようになり、単語で気持ちを訴えていた子が会話できるようになるなど、目まぐるしく成長していく姿をご家族と一緒に見守っています。一方、子育てや自分自身の病に悩む母親からの相談を受けることもあり、考えさせられる毎日です。

まだまだ経験も浅く、健診や電話で尋ねられる質問にすぐに答えられないこともあります。先輩方から教えていただきながら日々学びを深めています。そして、得た学びをどのようにご家族に伝えればわかりやすいかを考えながら、相談を受けるようにしています。

今後の課題

頭では「子育てに正解はない」とわかっているつもりでしたが、子どもの発育やことばの発達を学んでいくにつれて、身につけた知識と健診などで出会う目の前の子どもたちのギャップに悩み、その子なりの

成長を見失ってしまうことがありました。自分の知識を押し付けてしまわないよう、ご家族と話しながら成長を見守っていきたいと思います。

後輩へのメッセージ

入区したばかりの頃、区民の方とかかわる中で人それぞれの価値観に戸惑い悩みましたが、職場の先輩方をはじめ家族や友だちに話を聞いてもらい、気持ちを整理することができました。

皆さんもこれから多くの人とかかわりながら自分自身のさまざまな感情に向き合い、苦しくなることがあるかもしれませんが、そんなときは1人で抱え込まずに周りの人と共有してほしいと思います。



母親学級にて



職場の先輩方と

助産師

愛育病院
原田 美佳穂
Harada Mikaho



母子のかかわりを大切に

母子のかかわりを大切にしながら、学校や実習施設での充実した助産実習を終え、2年前の4月、私は愛育病院へ助産師として就職しました。入社してからは、夢であった助産師の新たなスタートを切り、楽しく母子とかかわる時間を過ごすことができた一方で、多くの課題も見えてきました。母子にとってよりよいケアを提供するために、自己学習や先輩へ相談をしながら、自分なりにアセスメントやケアの振り返りを重ね、一例一例を自分のものにしていけるよう努力しました。

対象者との貴重な経験

2年目になってプライマリーナースを経験し、妊娠・分娩・産褥期を通して1人の対象者を受け持ちました。その中で優先順位や見通しを立てながら看護すること

の難しさを感じましたが、1人の対象者とじっくり向き合い、今までの自分の学習や経験を最大限に活かすことのできる貴重な経験だったと思います。さらに対象者の背景を含めたその時のアセスメントや、ケアの評価、また今後の方針をチームで共有し、安全を前提とした対象者の気持ちに寄り添った助産計画や助産ケアを事例を通して学ぶことができました。今後も対象者の気持ちに寄り添うことを大切に、女性のライフイベントを支えられるような助産師になりたいと思います。



とりあげた赤ちゃん、すくすく育ててね

看護師

武蔵野赤十字病院
救命救急センター HCU
大谷 里奈
Otani Rina



救命救急センターを希望して

私は幅広い知識や行動力を持った看護師に憧れて、救命救急センターを希望しました。HCUにはさまざまな疾患の患者さんや急変リスクの高い患者さんもあり、自分の知識や看護に不安を抱くことが多くあります。しかし、多職種と連携し、急性期から退院支援までの幅広い看護を実践できるため、学びの多い充実した日々を過ごしています。初めて見聞きする疾患や複雑な社会背景に直面することも多く、驚きや戸惑いの連続で勉強の毎日ですが、生命の危機にあった患者さんが回復して笑顔が見られた時の喜びが大きなやりがいとなっています。救命救急センターの特徴として亡くなる方も多く、気持ちの整理がつけられずに涙を流すこともありました。しかし、そのような経験をする

たびに、先輩方や同期に支えられ、新たな学びを得ることができました。

「頑張ろう」という気持ちになった新人研修

新人研修ではさまざまな指導者からのアドバイスにより、知識や技術の習得だけでなく自分自身の思いや看護観と向き合うことができています。悩む時もありますが、定期的に行われる研修の中で他病棟の同期と気持ちの共有をすることで、みんな同じような悩みを持っていることを知り、「頑張ろう」という気持ちになります。

今後は危機的状況に置かれている患者さんやその家族に対して、1人ひとりの思いを尊重し、精神的に寄り添った看護ができるよう、さらに学びを深めていきたいと思っています。

医療安全委員会

今年度テーマは“患者・市民と取り組む医療安全”です

医療安全委員 佐々木久美子

東京都看護協会の医療安全委員会は、平成 28 年度テーマを「患者・市民と取り組む医療安全」としました。1 年間を通じてイベントや研修等で、このテーマに取り組んでいきます。

平成 20 年 5 月から全国規模で開始された「医療安全全国共同行動」では、行動目標 8 に「患者・市民の医療参加」が挙げられています。患者・市民と医療者のパートナーシップによりケアの質と安全を担保し、相互信頼関係を向上させる目的です。また、平成 27 年 10 月から施行された医療事故調査制度では、該当事例の院内での事故調査と患者家族への報告までを行い、透明性を高めることが求められています。

患者・市民の参加には具体的にどのようなものがあるのでしょうか。

★フルネーム等を名乗っていただく

処置やケアの直前にフルネームで名乗っていただくこと等で、患者間違いを防ぐことができます。



★患者参加の転倒防止

滑らないように靴をはく、歩きやすい寝衣を着用する、決められた方法でベッドから降りる、動く前にナースコールを押すことも重要な患者参加です。

★お薬手帳の適切な使用と管理

患者が薬を理解することは、疾患の理解と治療への参加を促進します。お薬手帳を正しく活用することは、与薬の安全管理でもあります。

★院内図書室の設置と活用

患者・市民が活用できる図書室や図書コーナーは情報提供の場です。また、そこを利用して、イベントや教室を行うことは、患者・市民の医療への参加を促し、教育の機会となります。

国を挙げての医療安全の取り組みが始まって 16 年、法や体制の構築、手順の整備などが進められてきました。医療者だけの取り組みでは限界があります。患者・市民は、医療安全のための私たちの大切なパートナーです。

みなさんの患者参加の取り組みもご紹介ください。

*イラストは、医療安全全国共同行動「患者市民の医療参加」のキャンペーンの 1 つ、「安全は名まえから」（患者と医療者の共同によるフルネーム確認）の支援ツールとして誕生したキャンペーンキャラクター〈キッコとユウゾウ〉です。

増える訪日外国人と感染症対策

感染対策委員 堀 成美

東京オリンピックまで4年となりました。国は年間の訪日外国人の目標を3,000万人とし、短期の観光ビザ免除など積極的な誘致が行われています。

2015年の訪日外国人は約1,970万人となり、訪日外国人が増えるとともに滞在中に体調不良で病院を受診する例も増えています。今後、「外国人の患者が受診したときにどのように対応をするのか」が医療機関での課題となっています。

言葉の問題については多言語アプリを入れたタブレットの導入、電話やインターネットによる遠隔通訳サービスの利用も広がっていますが、ここで今一度考えていただきたいのが「感染症対策」です。この数年を見ても、エボラ出血熱が国境を越え、韓国の複数の病院で輸入 MERS 症例が院内感染として広がり、東京ではデング熱のウイルスが土着の蚊に広がって地域流行につながりました。

今年はジカウイルス感染症（ジカ熱）の流行がニュースになっています。遠い国の話のようですが、自分は

出かけなくても、流行地から人とともに病原体はやってきます。発熱・皮疹・咳・頭痛などの“よくある症状”で待合室にいた人が、あとから「〇〇だった」とわかるわけですが、それまでの間にスタッフや待合室と一緒にいた患者さんに感染が広がったり、不安を抱えたりしなくていいように各医療機関が準備をする必要があります。

対策のカギは渡航歴がある人を早くに把握すること、発熱や咳の症状がある人が来院したときの初動をみんなで行えるようにしておくことです。感染対策担当の看護師を中心に確認いただければと思います。

ニュースで扱われなくなると「もう終わった問題」と思われがちですが、風疹や麻疹が持ち込まれると集団感染が起きそうな世代や地域が都内にもまだ残っています。メディアのセンセーショナルな情報に振り回されるのではなく、ワクチン接種率の向上、海外渡航する人への防蚊対策のアドバイスなど地道な取り組みを続けましょう。



※海外に出かける前は、FORTHで行き先の状況を必ず確認しましょう。
(厚生労働省検疫所ホームページ <http://www.forth.go.jp>)

チーム医療の現場から

— これからは「医師・看護師・薬剤師」の連携で —



公益社団法人 東京都薬剤師会
常務理事 **上野 浩男**

現在、東京都薬剤師会では来るべき2025年の医療提供体制をめざしてスタートした「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、さまざまな取り組みを実施しております。

昨年度より訪問看護ステーション・ケアマネジャー・医療機関等と連携して残薬問題や服薬状況の改善等、在宅医療の質の向上を図ることを目的とした「薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点事業」が実施されています。とりわけこの事業においては、看護師の皆さんに各地域において患者さんに関するさまざまな情報を提供していただき、服薬状況の向上に向けた連携をとらせていただきました。

在宅医療は、その長い歴史においては「医師と看護師」との連携で担われてきました。しかしながら、来るべき2025年に向けては、多職種が連携して取り組まなければ対応できません。薬剤師との連携は主に薬物療法に関する事項になりますが、在宅療養では患者さんの“こころのケア”等の問題も併せて対応する必要があり、看護師の皆さんとのさらなる連携が必要です。

先の事業においては、われわれ薬剤師が関与することにより「患者さんからの信頼感が増した」「患者さ

んへの支援が向上した」「患者さんへの負担が軽減した」等のご意見をいただきました。薬物療法に関しては、お互いの職能を尊重しながらしっかりと連携して実施することが重要であり、1プラス1が2以上の結果になるよう努力することが大切であると考えております。

病棟業務並びに在宅療養においても看護師の皆さんとさらなる連携を図り、これからもお互い顔の見える関係を継続して、1人でも多くの患者さんの笑顔に接することができるよう当会も取り組んでいく所存です。

今後ともよろしく願い申し上げます。



看護の日・看護週間事業 看護フェスタ 2016

日時：平成28年5月14日(土) 12:00～16:00

場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

対象：都民

*健康チェック・健康相談・ミニ講座・クイズラリー等、いろいろなコーナーがあります。看護の日の記念グッズも配布しています。

会員の皆様もお気軽にお立ち寄りください(予約不要)

※看護フェスタは医療関係団体と東京都看護協会会員の協力で実施されています。

入場
無料

東京都赤十字血液センター —新宿東口駅前献血ルーム—

施設めぐり 第31回

施設の概要

「東京都赤十字血液センター（以下血液センター）」は東京都内の献血の受け入れと血液製剤の供給を担う、全国最大の地域血液センターです。血液センターには、固定採血施設として東京都内15ヶ所の献血ルーム（平成28年2月時点）、また献血バスの基幹施設が6ヶ所（新宿・立川・駒込・武蔵野・大田・葛飾〈*5月頃まで工事中〉）があります。スタッフは約780名、看護職は約290名（移動採血会場約90名、献血ルーム約200名）在籍しています。

今回取材させていただいた「新宿東口駅前献血ルーム」は、平成26年12月18日に開設され、都内15ヶ所の献血ルームの中で最も新しい献血ルームです。

「アート and ギャラリー」をテーマとしており、採血室にはアートデザインが施されている他、献血後の休息スペースにもギャラリーを設置しており、献血を終えられた後もゆっくりと展示をご鑑賞いただけます。

さらに、占いやマッサージなどを不定期で開催し、献血ルームから見える景色は最高で魅力的な施設です。

柴田さん・山内さんに伺いました

「わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります」という日本赤十字社の使命のもと血液事業を行っています。

献血は善意のご協力であることから、献血者への接遇やコミュニケーションが非常に重要で、訪れた人が気持ちよく採血できるように努めることがリピーターを増やしていくことになり、安定した血液の確保につながっていきます。

看護師の主な業務は、輸血用採血や血液製剤のための採血です。採血には全血採血・成分採血（血小板採血・血漿採血）があり、採血手順は「標準作業手順書」に基づき決められているため、採血の知識・技術の習得が必要となります。また、成分採血では、CE（臨床工学技士）の指導体制を整えています。

採血の知識・針刺し事故を防止するガイドライン・感染防止の教育はもちろんですが、独自のラダー制度が導入されており、血液センターにおけるキャリア開発をサポートしています。技術のチェックは、先輩看護師の指導のもとに必要な技術をマスターできるようOJTの体制を整えています。血液事業学会や海外の学会にも参加しています。

血液事業の今後の課題は、若い方の献血者数が減少傾向にあり、将来の血液の安定供給に支障をきたす恐れがあることです。少子高齢化や若い方の献血離れなどが原因と考えられています。このためリピーターの確保は重要です。街頭での献血の呼びかけや各地でのイベント（両国国技館での大相撲献血）などで献血を実施することで問題解決に取り組んでいます。

後輩へのメッセージ

血液センターではワーク・ライフ・バランスが考慮され、ライフスタイルに合わせて働く時間が選べるなど看護師が働きやすい環境をつくっています。献血バスによる出張献血では、都内の名所やふだんは行けない所にも行くことができるので、楽しみの1つです。

輸血を受けられて元気になられた方からの感謝のお手紙は、私たちのやりがいになっています。



東京都赤十字血液センター（新宿区若松町）



新宿東口駅前献血ルーム受付

©Blue Hours



新宿東口駅前献血ルーム採血室

©Blue Hours



左：山内 美江（企画課） 右：柴田 玲子（献血推進二部長）

みんなの広場

癒しの空間 その13

日常の中の癒し

墨田区福祉保健部高齢者福祉課

中山 裕子

Nakayama Yuko



保健師として行政で働いています。現在は介護保険制度改正に当たり、平成28年4月から開始する市町村独自サービスやケアマネジメントの単価や運用の基準づくりをしています。そのため、国からの大量の通知や省令等を読みこなして現場とのパイプとなるべく独自のガイドラインを作り、説明会をこなし、要綱作成、予算の調整などなど、この1年癒しのない毎日、バリバリ交感神経優位の日々を送っています。

夫と二人暮らしの私は、小型犬を2頭飼っており、遅くまでお留守番をさせています。帰宅すると、世界の果てで会えたみたいに目をキラキラさせて、ジャンピングキャッチ、胸に飛びついてきます。無防備に甘え、頭から身をゆだねる様子はもう、ペットではなく家族。ここまでダイレクトに求められることは人生なかなかないんじゃないかと思ひ、こちらもおなかをさすり、「会えてよかった〜」と思いきり喜びを伝えます。一方、夫には「お帰り〜」と走りより、一通り“いい子”してもらったらおしまい。「散歩も餌やりもこっちなのになぜ？」という夫をよそ目に私への甘えっぷりを見せつけること。そのちょっとした優越感が毎日の癒し、明日への活力源となっています。

職場では、余裕がない状況の中、日々ちょっとした笑いをちりばめています。同性同年代との会話のニコマです。

昔パソコン教室行ったらさ、「まずマウスを握ってあげてください」隣のおじいさんが片手に持って高々と……ケラケラケラ。

四半世紀前。大学病院を辞めて町の保健センターでアルバイトしていたとき、「健診結果の分析、円グラフにしたい」って言ったら、湯呑みと分度器渡された……そうそう。

お風呂に入ってハーとため息、アロマの香りに癒されても、ふっと脳裏をかすめる仕事の香り。ムクムクと交感神経が……。でも、おかげさまで人の健康や命にかかわる仕事をさせてもらっている、そういう気持ちになれる瞬間がある。それが今の私の癒しかなと思っています。



墨田区役所と桜



スカイツリー



勝安芳（海舟）像



たまに山ガール



「ネモフィラの丘」にも行きました



ごん太（Mix 6歳）コロ（マルチーズ 5歳）



ヤンキーコロ

わたしの好きなとうきょう その26

“水と歴史のまち”日野で癒されませんか？

株式会社ラビオン
山の上ナースステーション
柴田 三奈子
Shibata Minako



私は、起業し訪問看護ステーションを開業してから、完全に仕事中心の生活を送っています。山口県の実家にたまに帰郷する以外は、旅行にもほとんど行かなくなりました。都心に出るのも会議や研修のときくらいで、東京に住んで29年になりますが、未だに新宿駅では迷子になります。あの人混みが苦手です。

そんな「わたしの好きなとうきょう」は、地元の日野市です。派手さはまったくないところですが、住むには最高の場所です。都心から電車に乗って約30分、電車を降りると空気がひんやりと感じ、ほっとします。

一番の魅力は訪問途中にも見られる富士山です。朝は澄みきった空の先にきれいな雪化粧姿で、夕暮れ時になると夕日に浮かぶ幻想的なシルエットで私の心を癒してくれます。

「山の上ナースステーション」から歩いて数分、「在宅サポートハウス山の上」（ケア付き住宅）の前を流れる小川には、十数匹の鯉が住んでいます。みんな黒色で30cm以上ある不気味な鯉なのですが、なぜか地元の人に愛されています。すぐ先に東京の名湧水（中

央図書館下湧水群）があり、その湧水が流れているため、とてもきれいな小川です。在宅サポートハウスに入居されている患者さんたちも鯉を見るのを楽しみにされています。時々、白鷺やカモも見かけます。ここ以外にも日野市には湧水が100カ所以上も存在しているようで、黒川清流公園もとてもきれいな水が湧き、ザリガニを捕まえる子どもたちで賑わっています。

他にも、多摩動物公園・高幡不動尊などの名所があります。また、新選組副長の土方歳三、六番隊隊長の井上源三郎の出身地としても有名で、「新選組のふるさと歴史館」や「土方歳三資料館」など新選組ファンにはたまらない場所が数多くあります。

ここでは日野市の魅力を伝えきれないため、興味のある方は日野市観光協会のホームページで「日野市観光紹介ビデオ」や「水辺のある風景日野50選」をご覧ください。そして、ぜひ一度足を運んでみてください。

日野市観光紹介ビデオ <http://www.city.hino.lg.jp/index.cfm/198,122336,315,1880.html>
水辺のある風景日野50選 <http://shinsenhino.com/archives/info/160219090236.php>



田舎ですがイオンモールもあります。
(スタッフとパンケーキ)



朝の富士山（自宅より）



在宅サポートハウス 建物の前に小川がある



夕暮れどきの富士山（自宅より）



小川の鯉



東京の名湧水（中央図書館下湧水群）

会員係からのお知らせ

平成28年度入会・継続受付中です！

入会は1年毎の更新となります。

入会区分	対象	納入金額
新規	東京都看護協会に初めて入会する方	20,000円
継続	平成27年度会員だった方	15,000円
再加入	過去に東京都看護協会に入会したことがある方	
異動 (28年度他道府県で 手続き済の方)	東京都看護協会に初めて入会する方	5,000円(入会金のみ)
	過去に東京都看護協会に入会したことがある方	0円(入会金不要)

会費内訳

入会金：5,000円 東京都看護協会会費：5,000円 東京都看護協会会館維持費：5,000円 日本看護協会会費：5,000円

会員有効期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

これからお手続きされる方は以下の点をご確認ください。

- 1 再加入の方は入会金5,000円が不要です。入会履歴が不明の方は手続き前に会員係までお問い合わせください。
- 2 平成28年4月以降に他県へ転勤・異動を予定している方は、確定後に異動先の道府県看護協会でお申し込みください。
- 3 平成28年度の入会手続きを済ませた後に、施設移動・退職等変更があった場合は、電話・ファックス・メールのいずれかでお知らせください。
- 4 会費納入は銀行振込または郵便振替でお願いいたします。現金取扱いによるリスクを回避するため協会窓口での現金お取扱いは10万円までとさせていただきます(窓口受付は平日のみ)。ご協力のほどお願いいたします。

免許番号・
生年月日
をお忘れなく！



お問い合わせは会員係まで TEL: 03-5229-1732 FAX: 03-5229-1524

図書室だより

図書室をもっと便利に活用!!

蔵書検索サービス

新年度がスタートしました！ 図書室は、今年度もあなたの“知りたい”をお手伝いします。今号は、図書室に来室しなくてもインターネット環境があれば、所蔵する本や雑誌・映像資料が検索できる「蔵書検索サービス」をご紹介します。

- 1 「東京都看護協会ホームページ」のトップページにある「アクセス・施設・図書室案内」から「図書室案内」を選びます
- 2 「蔵書検索」を選びます

- 3 検索窓にお探しの書名、または著者名を入れて右側の検索ボタンをクリックしてください(「脳卒中」「在宅ケア」などの単語でも結構です)

- 4 入力した語が含まれる本・映像資料・雑誌・雑誌特集記事が、結果として表示されます(本については、左側に表紙のイメージ写真も表示されます)



表紙 新島 八重

平成28年度の表紙は、近代日本の看護の先駆者の方々を紹介します。大河ドラマ「八重の桜」で、その力強い生き方に感銘を覚えた方は多かったと思います。新島 襄とともに同志社の設立に尽力され、襄氏の没後は、日赤の篤志看護婦として活躍されました。

編集後記

新年度を迎え、どのような出会いがありましたか？
新しい仲間と共に頑張りましょう。

(広報委員一同)